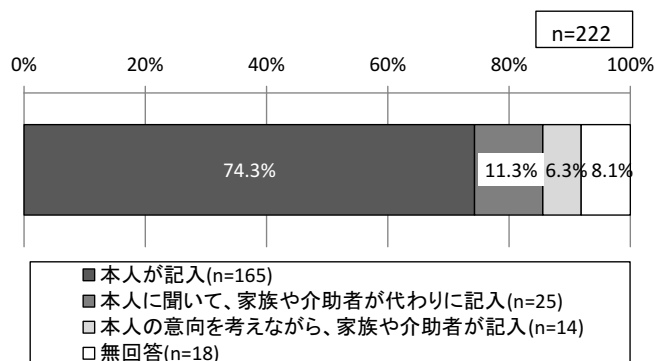


調查結果 IV. 難病患者

問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

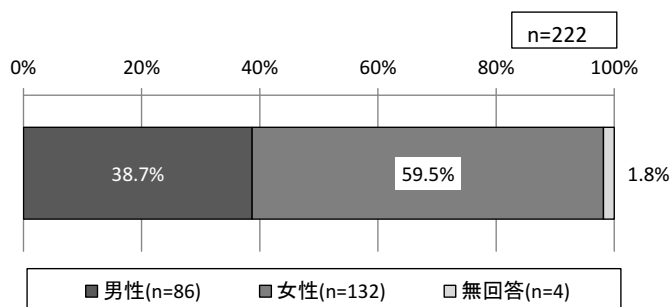
記入者については、「本人が記入」が74.3%、「本人に聞いて、家族や介助者が代わりに記入」が11.3%、「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が6.3%、となっています。



《あなた(宛名の方)の性別・年齢などについて》

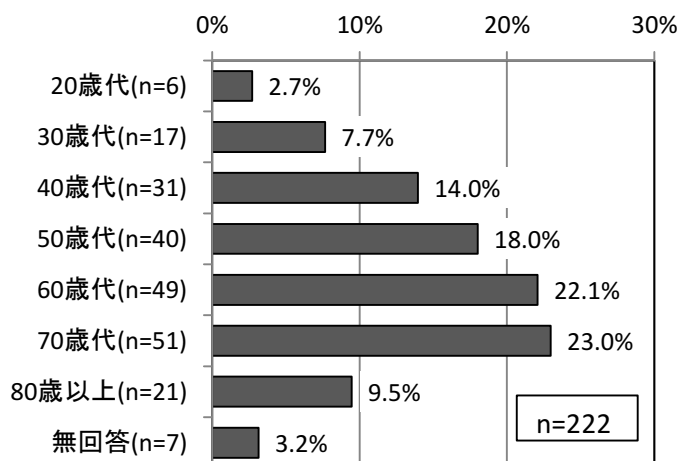
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が38.7%、「女性」が59.5%となっています。



問3 あなたの年齢(9月1日現在)を記入してください。

年齢については、「70歳代」が23.0%と最も高く、次いで「60歳代」が22.1%、「50歳代」が18.0%となっています。



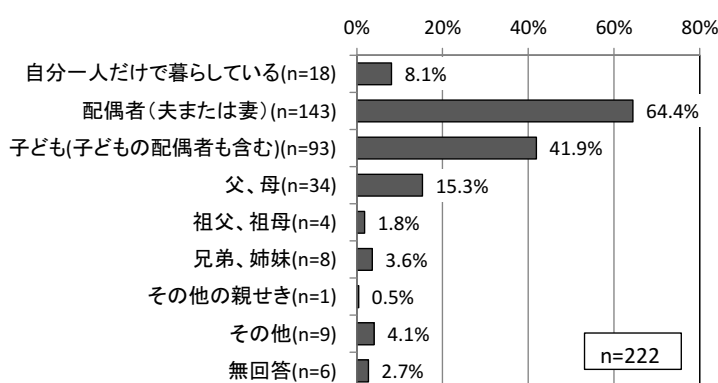
問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

暮らしている場所については、「自宅」で暮らしている方が9割以上(92.3%)と最も高くなっています。

n=222	自宅 (n=205)	グループ ホーム (n=1)	病院に入院 している (n=6)	施設に入所 している (n=3)	その他 (n=1)	無回答 (n=6)
	92.3%	0.5%	2.7%	1.4%	0.5%	2.7%

問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

同居家族については、「配偶者(夫または妻)」と暮らしている方が64.4%と最も高く、次いで「子ども(子どもの配偶者も含む)」が41.9%となっています。



問6 あなたの特定疾病はなんですか。差し支えなければ疾病名をお書きください。

特に回答の多かった特定疾病は、「潰瘍性大腸炎」、「パーキンソン病」、「全身性エリテマトーデス」、「クローン病」、「重症筋無力症」となっています。

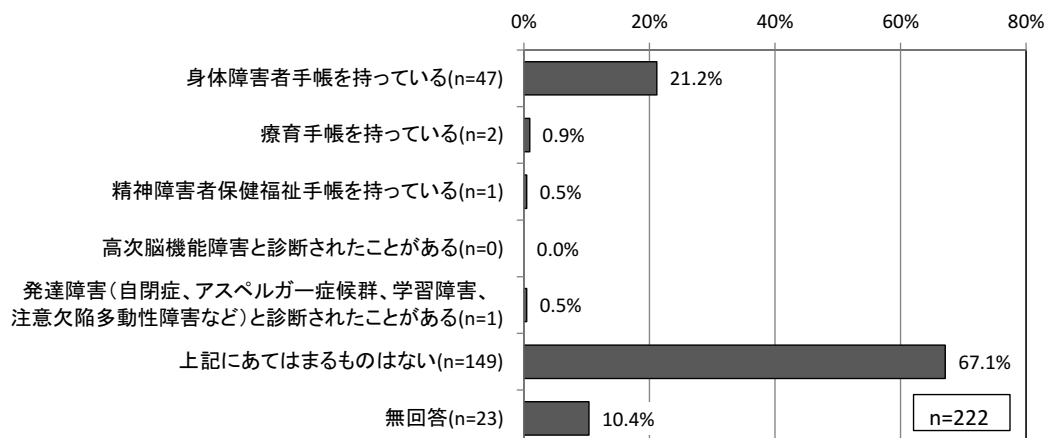
特に回答の多かった特定疾病名

疾病名	回答数
潰瘍性大腸炎	44
パーキンソン病	27
全身性エリテマトーデス	22
クローン病	13
重症筋無力症	13
全身性強皮症	8
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	8
多発性硬化症/視神経脊髄炎	6
特発性血小板減少性紫斑病	6
ベーチェット病	5

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

「身体障害者手帳を持っている」が21.2%と最も高くなっており、その他の項目については1%未満となっています。

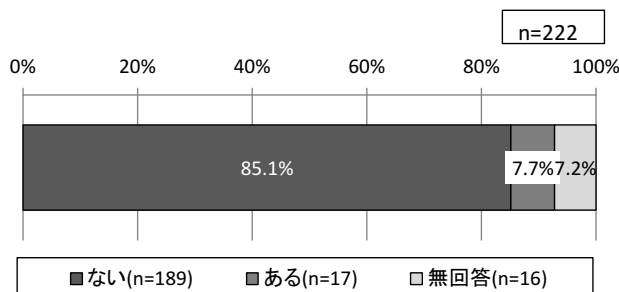
また、「上記にあてはまるものはない」は67.1%となっています。



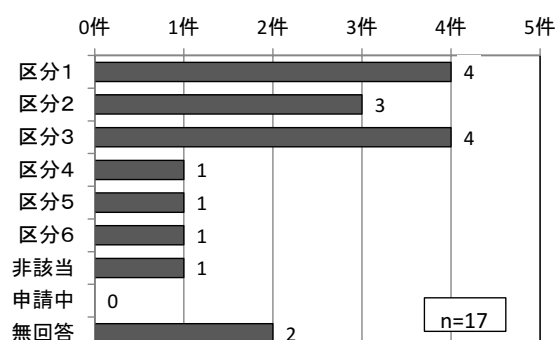
問8 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」人は、7.7%となっています。

区分としては、「区分1」、「区分3」がともに4件、「区分2」が3件、「区分4」、「区分5」、「区分6」、がそれぞれ1件となっています。

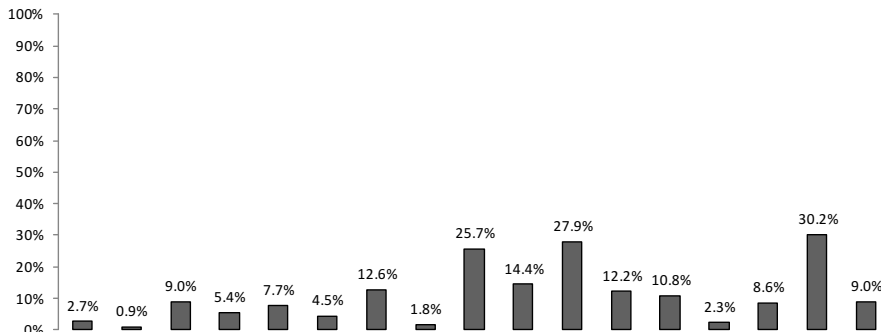


【障害支援区分内訳】



問9 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「医療費が多くかかる」が27.5%と最も高く、次いで「外出がしにくい」が25.7%、「公共の乗り物の利用が難しい」が14.4%となっています。



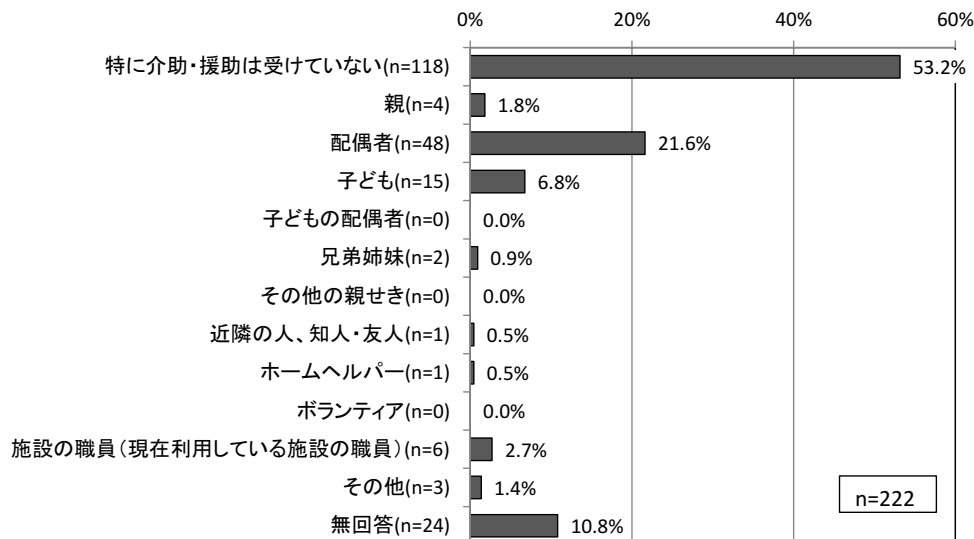
問7主な障害	n	介助を手伝ってくれる人がいない	十分な教育が受けられない	気軽に相談するところがない	訓練が十分にできない	住んでいる家で使いにくいところがある	働く場がない	生活費が足りない	結婚について	外出がしにくい	公共の乗り物の利用が難しい	医療費が多くかかる	診療してくれる医療機関が少ない	周りの人の理解が少ない	休日の過ごし方	その他	特にない	無回答
TOTAL	222	2.7%	0.9%	9.0%	5.4%	7.7%	4.5%	12.6%	1.8%	25.7%	14.4%	27.9%	12.2%	10.8%	2.3%	8.6%	30.2%	9.0%
身体障害者手帳を持っている	47	6.4%	2.1%	17.0%	10.6%	14.9%	6.4%	19.1%	0.0%	46.8%	27.7%	12.8%	19.1%	6.4%	4.3%	10.6%	21.3%	2.1%
療育手帳を持っている	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障害者保健福祉手帳を持っている	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障害と診断されたことがある	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など)と診断されたことがある	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上記にあてはまるものはない	149	1.3%	0.7%	7.4%	4.7%	5.4%	4.7%	11.4%	2.7%	22.1%	12.8%	32.2%	10.7%	13.4%	2.0%	8.7%	34.2%	7.4%
無回答	23	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	17.4%	8.7%	4.3%	0.0%	4.3%	26.1%	34.8%
問3年齢(3区分)																		
18歳未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19～64歳	110	1.8%	1.8%	10.9%	3.6%	5.5%	7.3%	14.5%	3.6%	17.3%	5.5%	37.3%	14.5%	16.4%	0.9%	8.2%	30.0%	5.5%
65歳以上	105	2.9%	0.0%	6.7%	7.6%	10.5%	1.9%	10.5%	0.0%	34.3%	23.8%	18.1%	10.5%	4.8%	3.8%	9.5%	32.4%	9.5%

《 介 助 ・ 援 助 の 状 況 に つ い て 》

問10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(〇は1つ)

主な介助者・援助者については、「配偶者」が21.6%と最も高く、次いで「子ども」が6.8%、「施設の職員(現在利用している施設の職員)」が2.7%となっています。

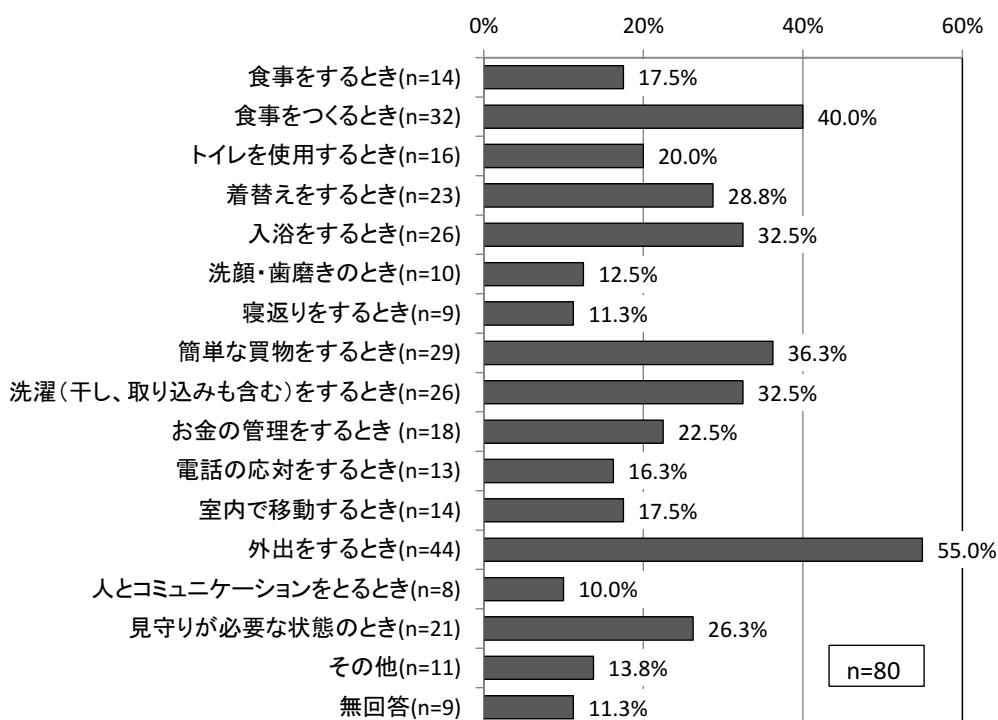
また、「特に介助・援助は受けていない」は53.2%となっています。



[介助・援助を受けている方におききます]

問11 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(〇はいくつでも)

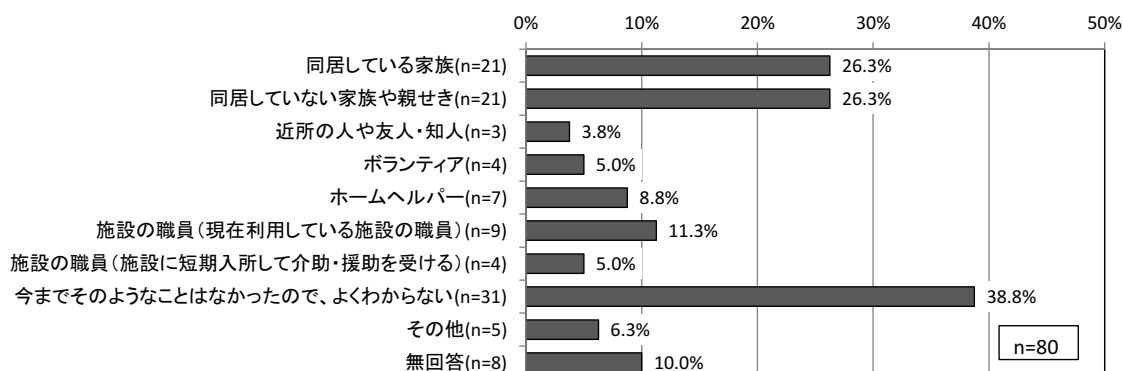
介助・援助を受けている場面については、「外出をするとき」が55.0%と最も高く、次いで「食事を作るとき」が40.0%、「簡単な買い物をするとき」が36.3%となっています。



問12 あなたを主に介助・援助している方が、病気の時や外出をしなければならないときなどは、代わりに誰に介助・援助してもらいたと思いますか。(〇はいくつでも)

主な介助・援助者が不在のときは、「同居している家族」、「同居していない家族や親せき」の介助・援助を希望する方が26.3%と最も高く、次いで「施設の職員(現在利用している施設の職員)」が11.3%となっています。

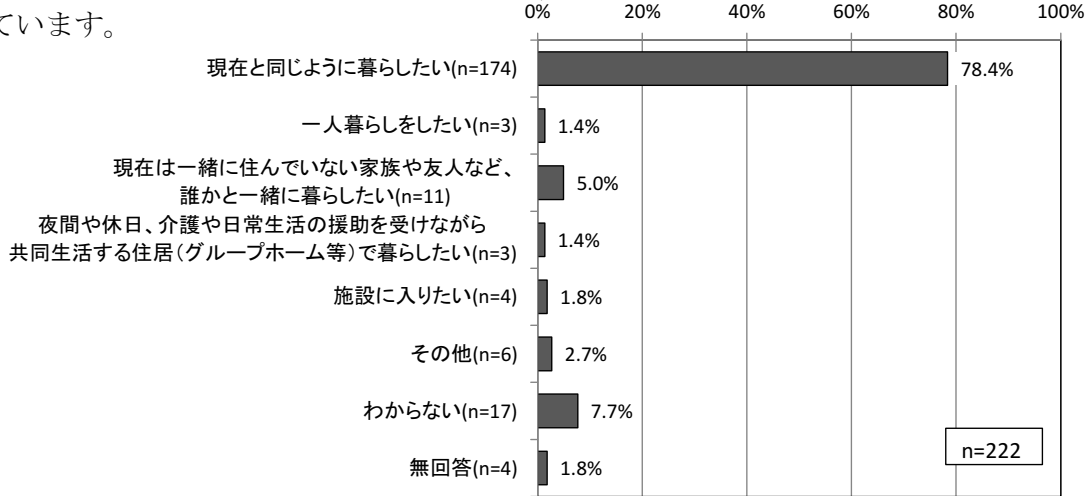
また、「今までそのようなことはなかったで、よくわからない」は38.8%となっています。



《 将 来 の 希 望 等 に つ い て 》

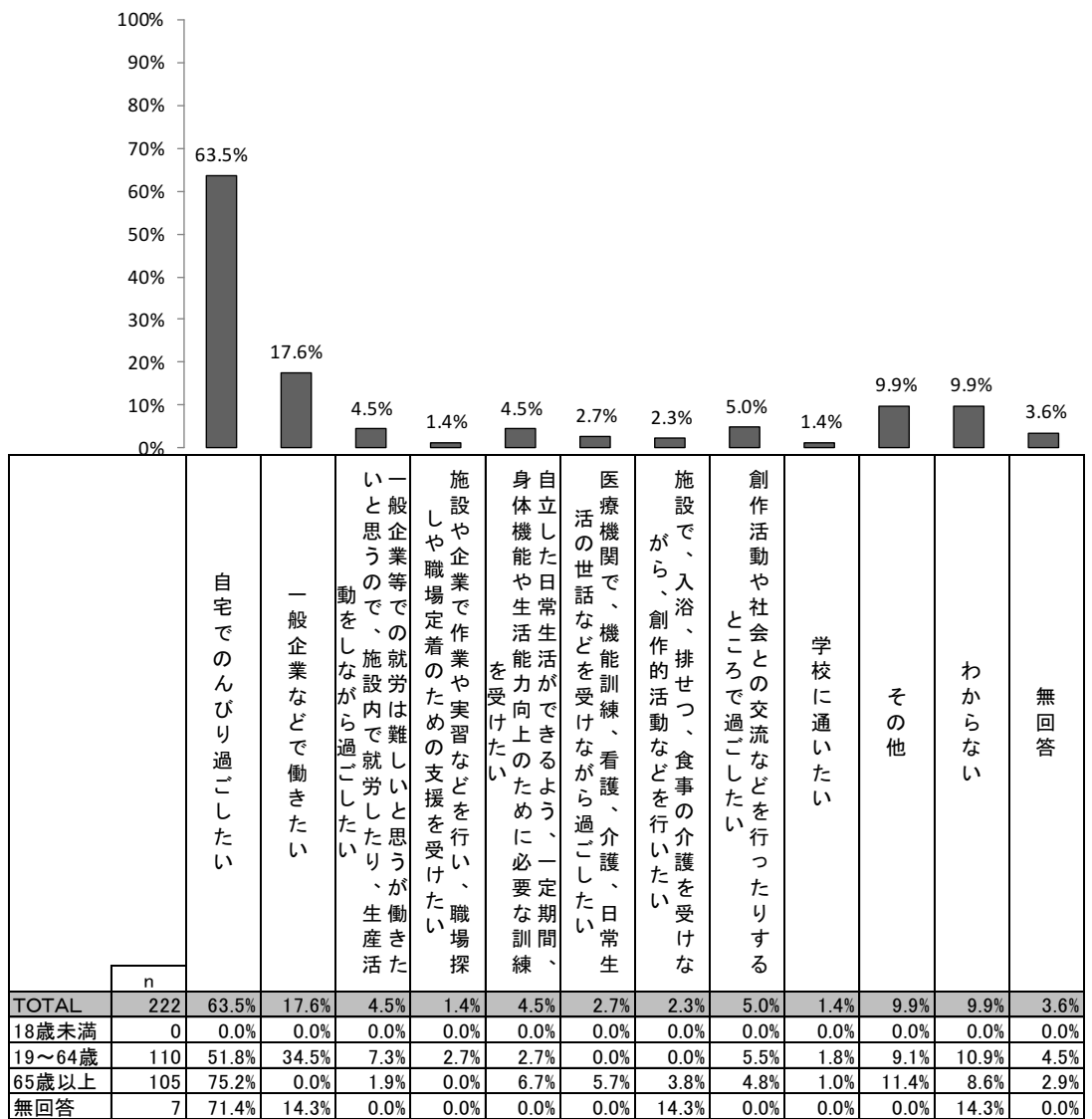
問13 将来(今後)、あなたはどのように暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

将来(今後)については、「現在と同じように暮らしたい」が78.4%と最も多く、約8割の方が回答しています。



問14 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

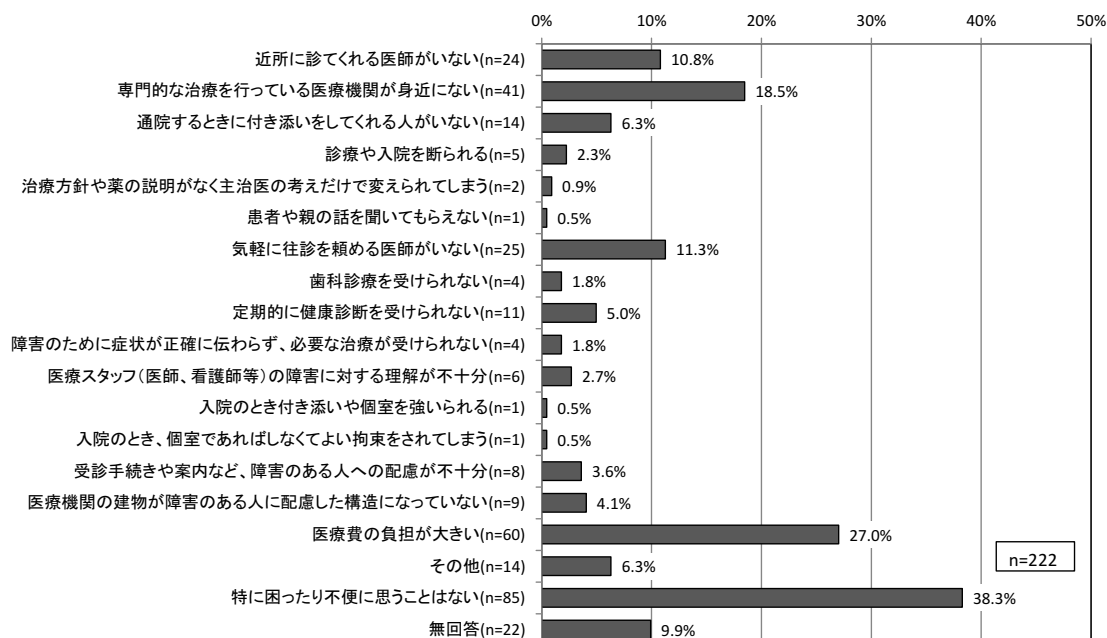
今後の日中の過ごし方については、「自宅でのんびり過ごしたい」が63.5%と最も多く、次いで「一般企業などで働きたい」が17.6%となっています。



《 健康状態や医療について 》

問15 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

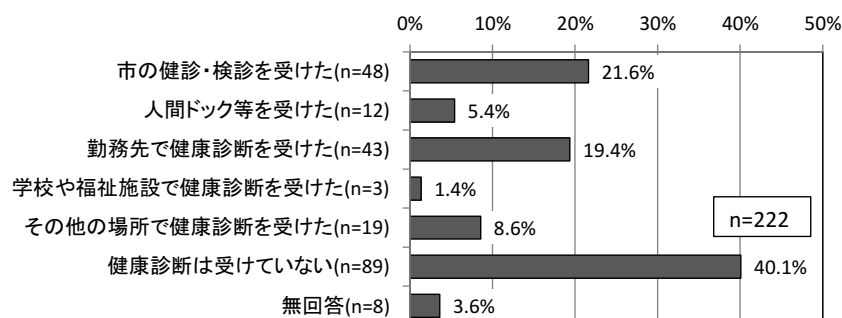
健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「医療費の負担が大きい」が27.0%と最も高く、次いで「専門的な治療を行っている医療機関が身近にない」が18.5%、「気軽に往診を頼める医師がいない」が11.3%となっています。



問16 過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(〇は1つ)

過去1年間の健康診断(健康診査)の受診については、「市の健診・検診を受けた」が21.6%と最も高く、次いで「勤務先で健康診断を受けた」が19.4%となっています。

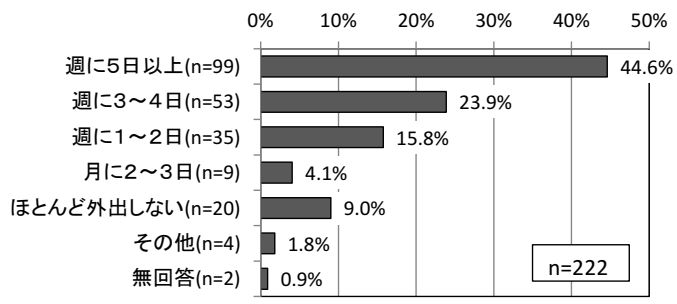
また、「健康診断は受けていない」は40.1%となっています。



《 外 出 や 余 暇 の 過 ご し 方 に つ い て 》

問17 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通所、通院、買い物、日常の散歩等すべて含めてお答えください。(○は1つ)

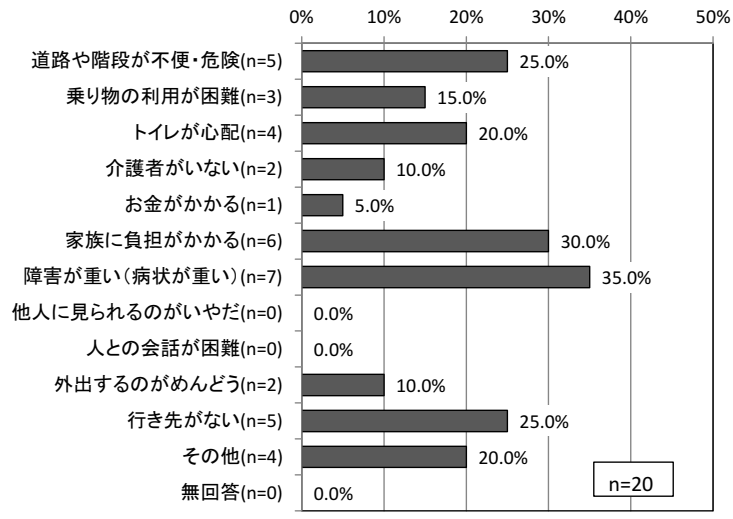
外出の頻度については、「週に5日以上」が44.6%と最も高く、次いで「週に3～4日」が23.9%、「週に1～2日」が15.8%となっています。
また、「ほとんど外出しない」は9.0%となっています。



[ほとんど外出しない方におききます]

問18 外出をしない理由は何ですか。(○はいくつでも)

外出をしない理由については、「障害が重い(病状が重い)」が35.0%と最も高く、次いで、「家族に負担がかかる」が30.0%、「道路と階段が不便・危険」、「行き先がない」がともに25.0%となっています。

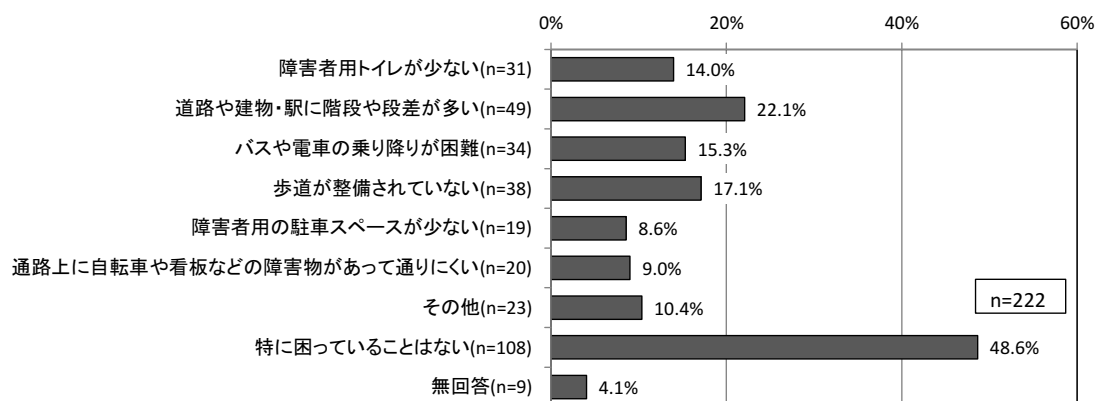


[ここからは、全員におききします]

問19 外出の際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

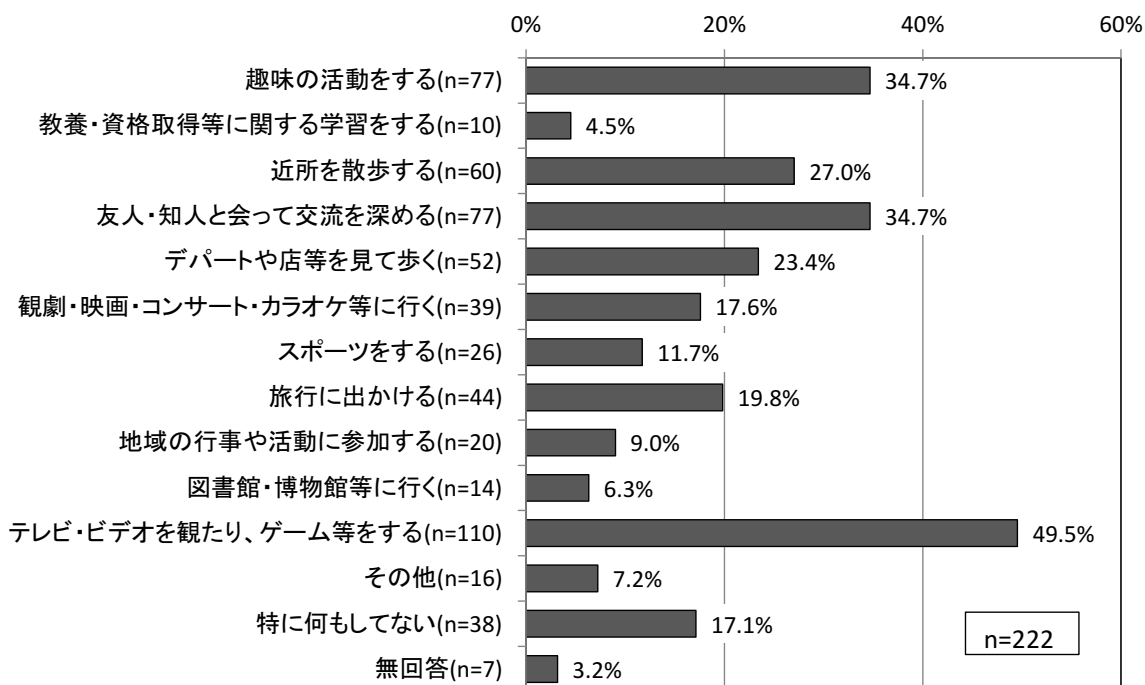
外出の際に困っていることについては、「道路や建物・駅に階段や段差が多い」が22.1%と最も高く、次いで「歩道が整備されていない」が17.1%、「バスや電車の乗り降りが困難」が15.3%となっています。

また、「特に困っていることはない」は48.6%となっています。



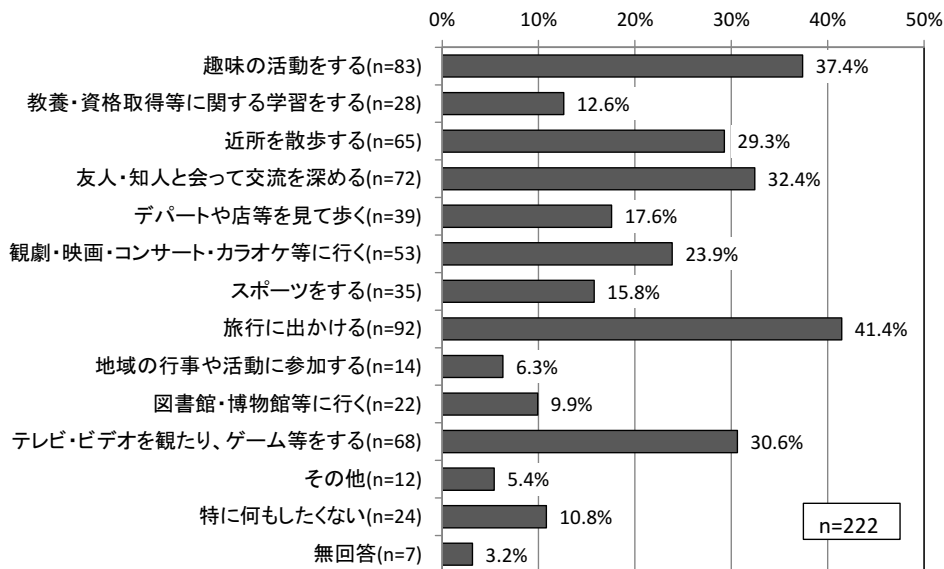
問20 どのような生涯学習活動や余暇活動をしていますか。(〇はいくつでも)

現在行っている生涯学習活動や余暇活動については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が49.5%と最も高く、次いで「趣味の活動をする」、「友人・知人と会って交流を深める」がともに34.7%となっています。



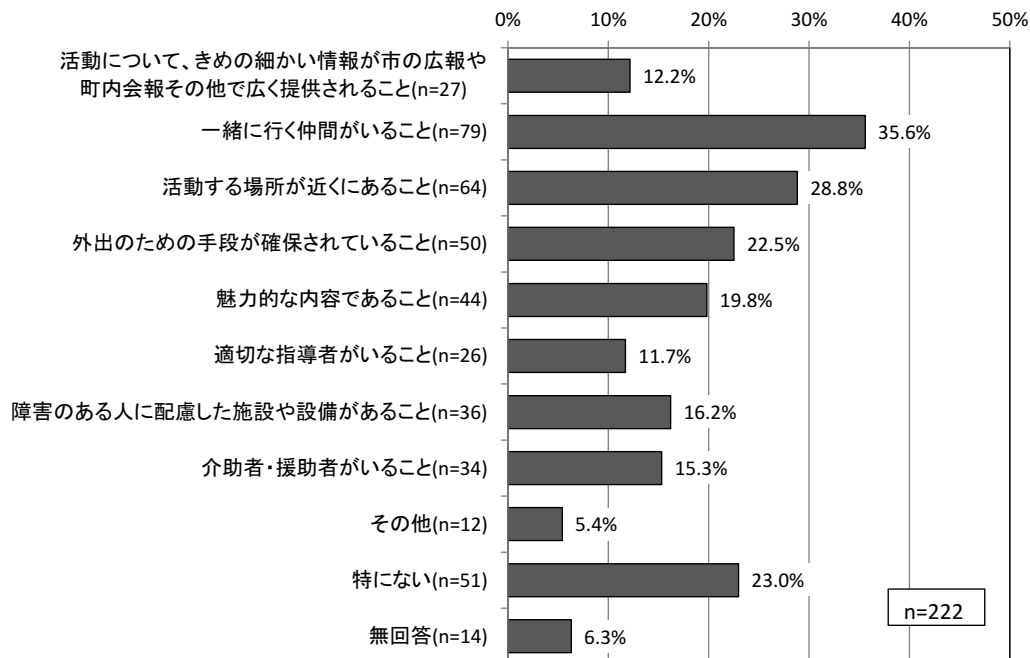
問21 今後、どのような生涯学習活動や余暇活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後行いたい生涯学習活動や余暇活動については、「旅行に出かける」が41.4%と最も高く、次いで「趣味の活動をする」が37.4%、「友人・知人と会って交流を深める」が32.4%となっています。



問22 あなたは、問21のような活動をするために、どのような条件が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

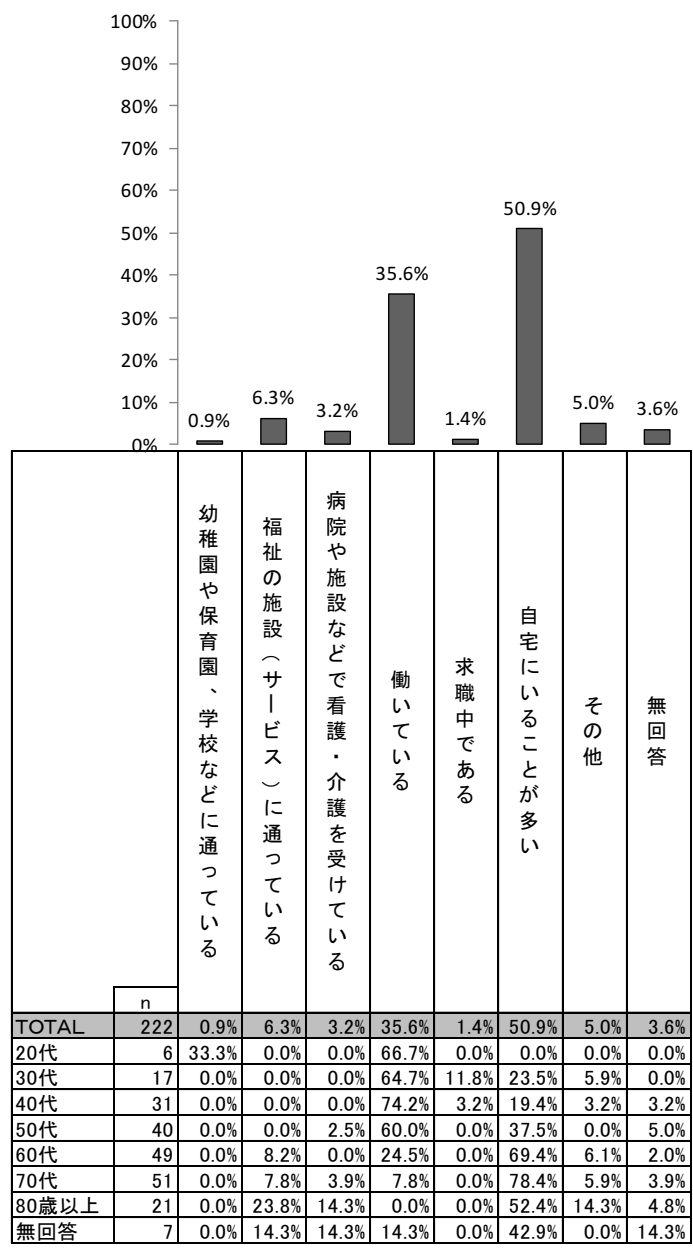
希望する活動を行うために必要な条件については、「一緒に行く仲間がいること」が35.6%と最も高く、「活動する場所が近くにあること」が28.8%、「外出のための手段が確保されていること」が22.5%となっています。



《 日 中 の 過 ぎ し 方 に つ い て 》

問23 あなたは、日中をどのように過ごしていますか。(利用しているものに○)

日中の過ごし方については、「自宅にすることが多い」が50.9%と半数以上の方が回答しています。



	n	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉の施設（サービス）に通っている	病院や施設などで看護・介護を受けている	働いている	求職中である	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	222	0.9%	6.3%	3.2%	35.6%	1.4%	50.9%	5.0%	3.6%
20代	6	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	17	0.0%	0.0%	0.0%	64.7%	11.8%	23.5%	5.9%	0.0%
40代	31	0.0%	0.0%	0.0%	74.2%	3.2%	19.4%	3.2%	3.2%
50代	40	0.0%	0.0%	2.5%	60.0%	0.0%	37.5%	0.0%	5.0%
60代	49	0.0%	8.2%	0.0%	24.5%	0.0%	69.4%	6.1%	2.0%
70代	51	0.0%	7.8%	3.9%	7.8%	0.0%	78.4%	5.9%	3.9%
80歳以上	21	0.0%	23.8%	14.3%	0.0%	0.0%	52.4%	14.3%	4.8%
無回答	7	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%

《 幼稚園や保育園、学校のことなどについて 》

[幼稚園や保育園、学校などに通っている方におききます]

問24 通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育園、学校などに通っている人の通園・通学先については、「短大・大学」が1人となっています。

n=2	幼稚園、保育園	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校	専門学校・高等技術専門学校	短大・大学	その他	無回答
	0	0	0	0	1	0	1

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

問25 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

幼稚園や学校などで困ることについては、「特に困っていることなない」は1人となっています。

n=2	通うのがたいへん	授業についていけない	トイレ等の設備が不十分	校内・園内での介護が不十分	友だちができない	職員の理解が得られない	学校の数が少ない	児童・生徒の理解が得られない	受け入れてくれる学校がない	普通学級に入れない	家族の同伴を求められる	その他	特に困っていることはない	無回答
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

問26 将来、学校教育を修了後の希望を教えてください。(ご本人がまだわからない場合は保護者の方がお答えください。)(○は1つ)

学校教育終了後の希望については、「就職したい」が1人となっています。

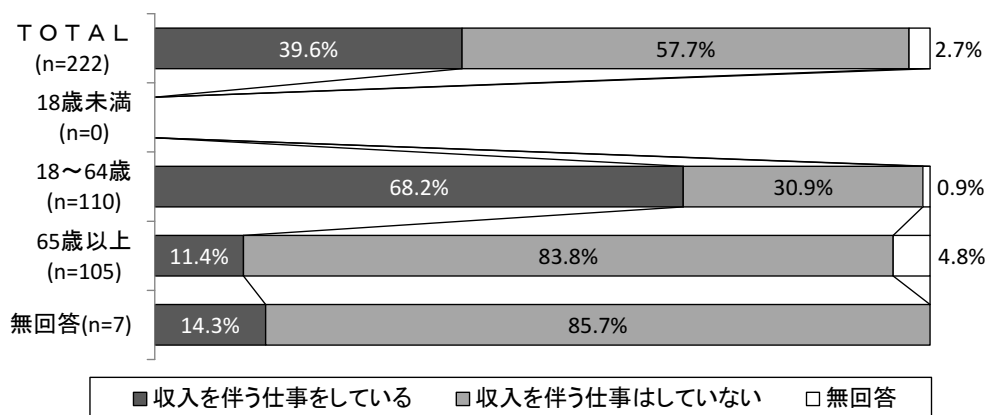
n=2	短大・大学・大学院に進学したい	専門学校・専修学校に進学したい	高等技術専門学校に進学したい	障害者施設に入所したい	障害者施設に通所したい	就職したい	その他	特に考えていない	無回答
	0	0	0	0	0	1	0	0	1

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

《 雇 用 ・ 就 労 に つ い て 》

問27 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

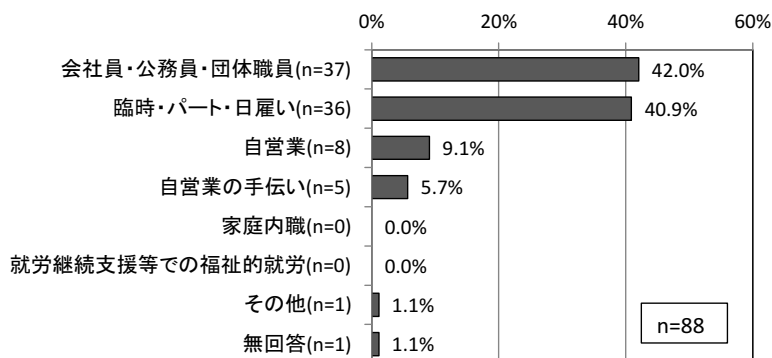
現在「収入を伴う仕事をしている」方は、39.6%となっています。



[収入を伴う仕事をしている人におききします]

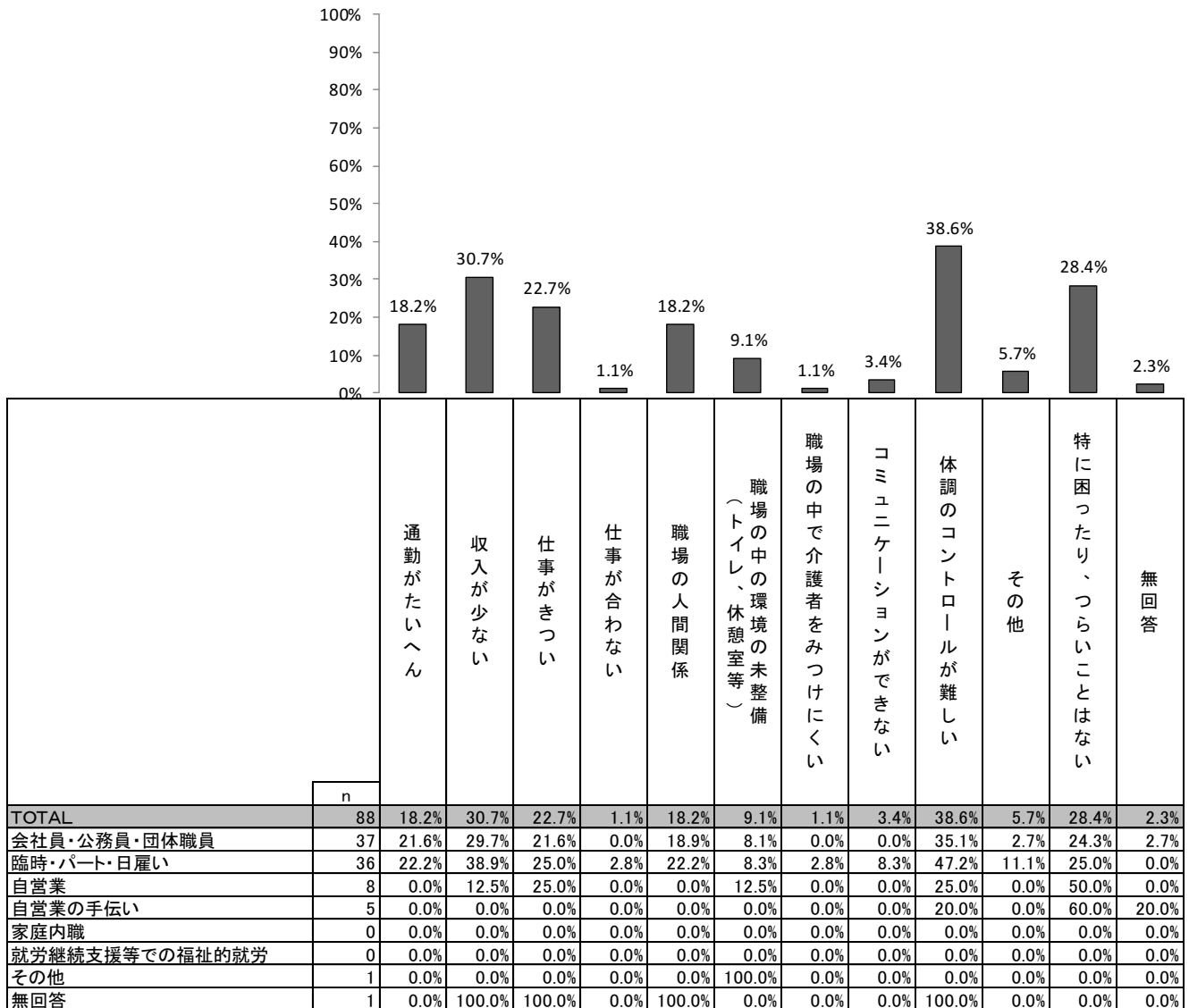
問28 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「会社員・公務員・団体職員」が42.0%と最も高く、次いで「臨時・パート・日雇い」が40.9%となっています。



問29 仕事をする上で困ったり、つらいことは主にどのようなことですか。(〇はいくつでも)

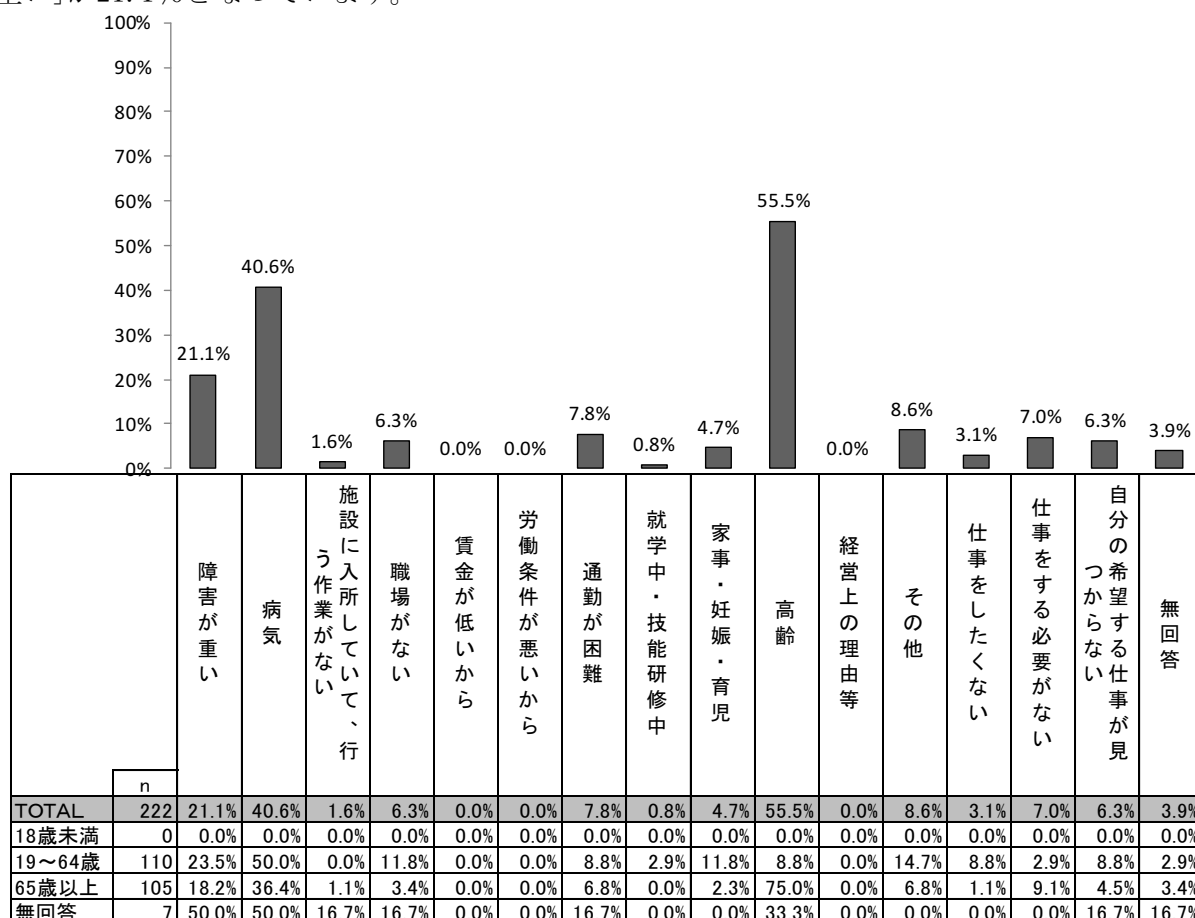
仕事をする上で困ったり、つらいことについては、「体調のコントロールが難しい」が38.6%と最も高く、次いで「収入が少ない」が30.7%、「仕事がつい」が22.7%となっています。また、「特に困ったり、つらいことはない」は28.4%となっています。



[収入を伴う仕事をしていない方におききます]

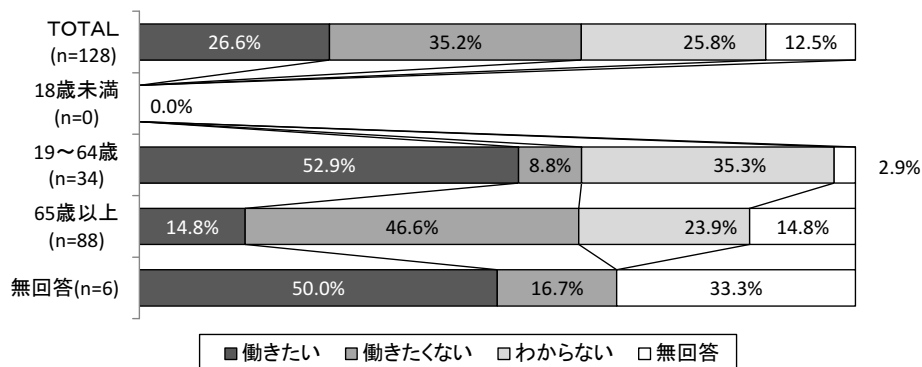
問30 仕事をしていない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をしていない理由としては、「高齢」が55.5%と最も高く、次いで「病気」が40.6%、「障害が重い」が21.1%となっています。



問31 今後、自分の健康や通勤の可能性等、条件が整っていれば働きたいと思いませんか。(〇は1つ)

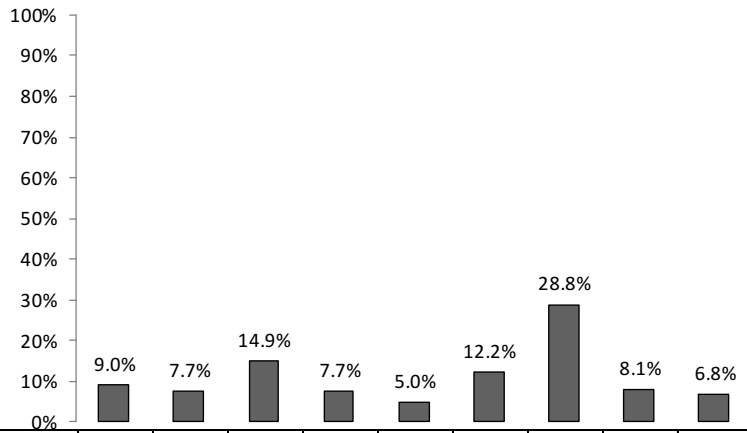
現在、収入を伴う仕事をしていない方のうち2割以上の方は、条件を整えば「働きたい(26.6%)」と回答しています



[ここからは、全員におききします]

問32 あなたの昨年一年間の収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

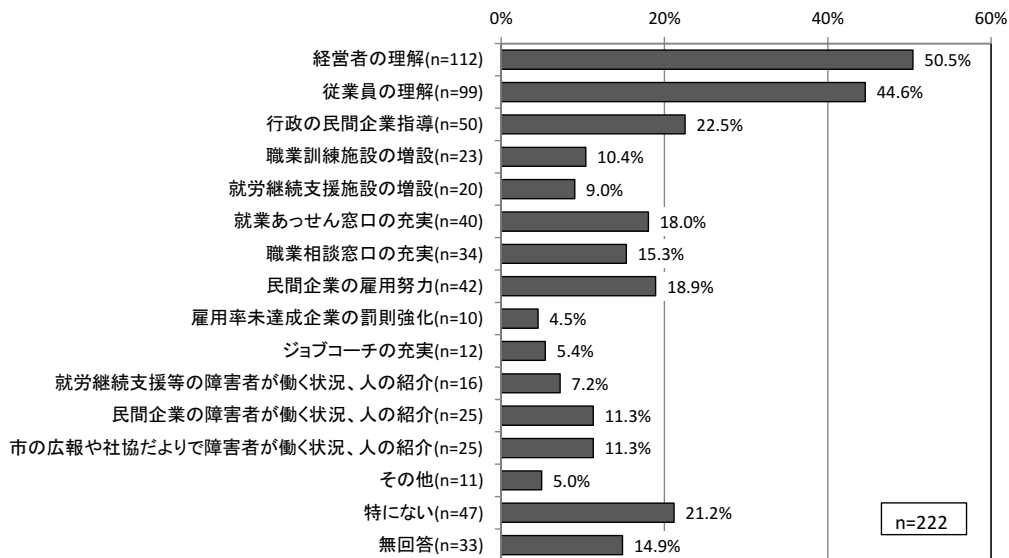
昨年一年間の収入の額については、「年収100万円未満」が28.8%と最も高く、次いで「年収200万以上300万円未満」が14.9%となっています



問28仕事の形態	n	年収50万円以上	年収50万円未満	年収30万円未満	年収20万円未満	年収15万円未満	年収10万円未満	年収100万円未満	わからない・その他	無回答
TOTAL	88	9.0%	7.7%	14.9%	7.7%	5.0%	12.2%	28.8%	8.1%	6.8%
会社員・公務員・団体職員	37	45.9%	27.0%	21.6%	0.0%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%
臨時・パート・日雇い	36	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	2.8%	25.0%	55.6%	0.0%	0.0%
自営業	8	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%
自営業の手伝い	5	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
問34主な収入										
給与・賃金	83	21.7%	14.5%	15.7%	8.4%	3.6%	8.4%	26.5%	1.2%	0.0%
事業収入	8	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
授産所や作業所の工賃	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族からの仕送り・援助	22	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%
年金、障害者年金	120	1.7%	4.2%	21.7%	11.7%	6.7%	15.0%	28.3%	6.7%	4.2%
生活保護	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
その他	20	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	15.0%	50.0%	30.0%	0.0%
無回答	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	81.8%

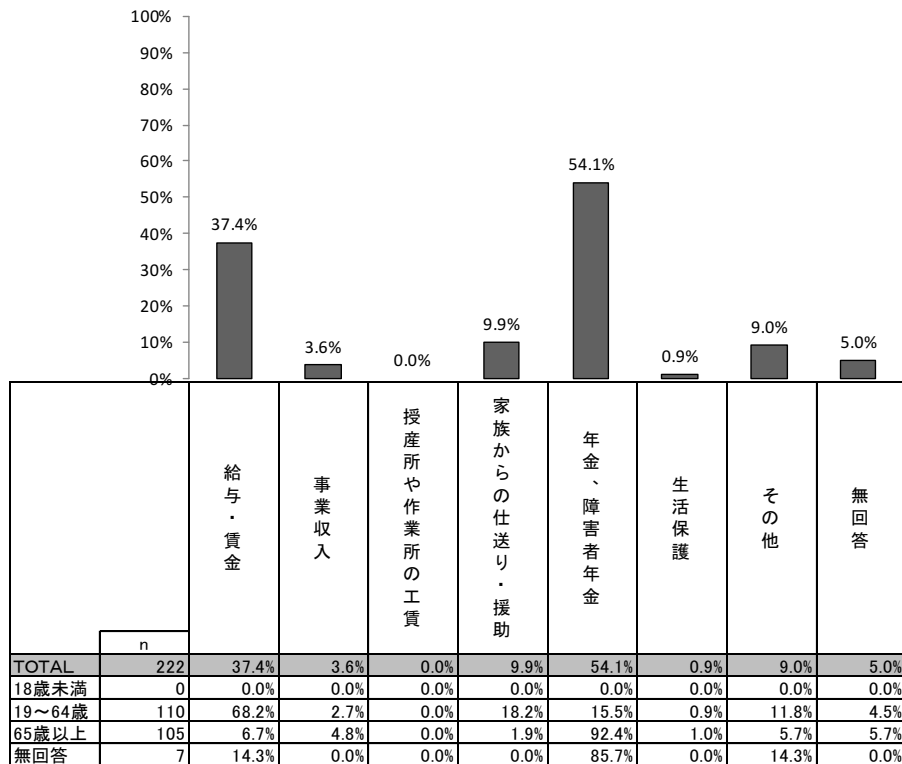
問33 障害のある人の就業を促進するために、あなたはどのようなことを希望されますか。
(○はいくつでも)

障害のある人の就業促進のために希望することについては、「経営者の理解」が50.5%と最も高く、次いで「従業員の理解」が44.6%、「行政の民間企業の指導」が22.5%となっています



問34 現在、あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

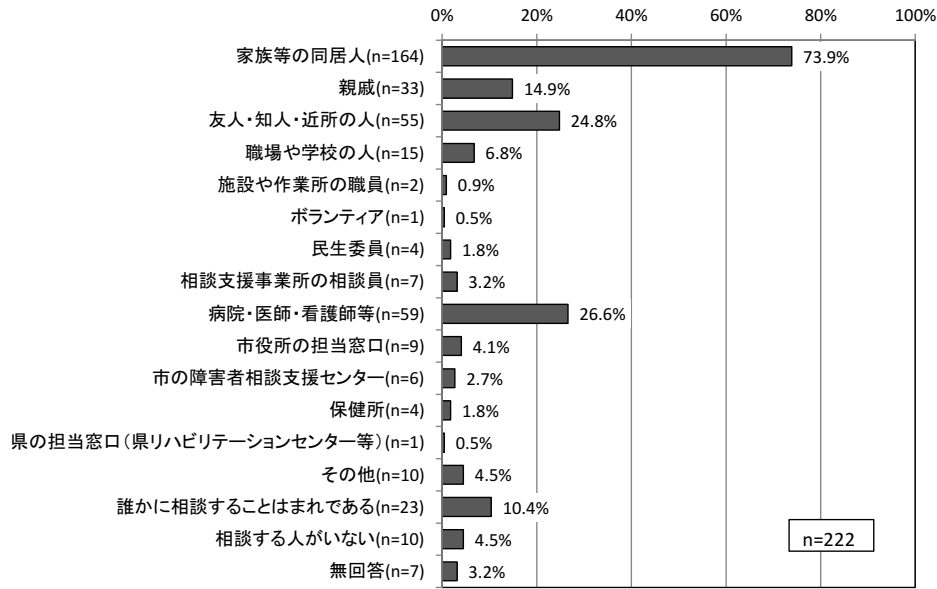
生活を支えている収入については、「年金、障害者年金」が54.1%と最も高く、次いで「給与・賃金」が37.4%となっています。



《 相 談 や 情 報 入 手 に つ い て 》

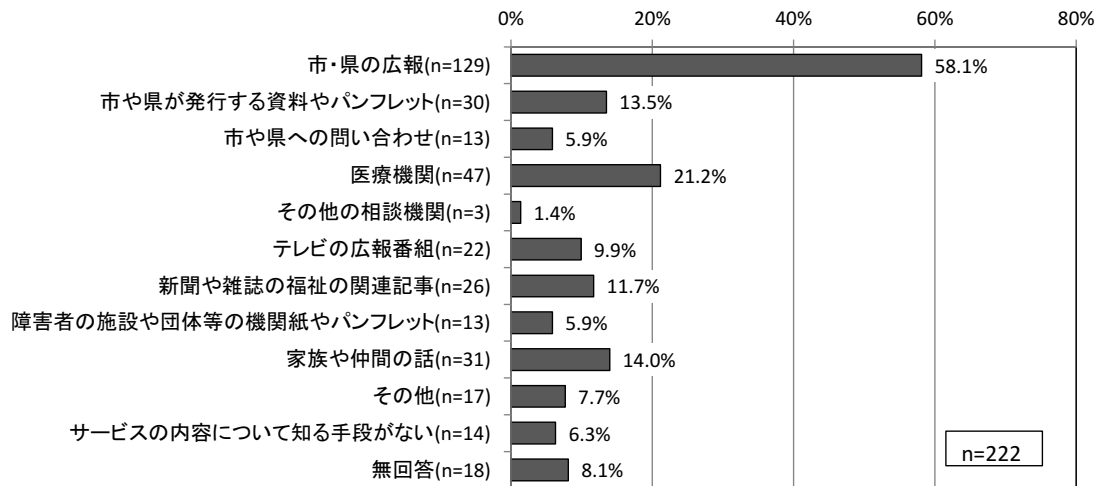
問35 普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。(〇はいくつでも)

悩みや困ったことなどの相談先については、「家族等の同居人」が73.9%と最も高く、次いで「病院・医師・看護師等」が26.6%、「友人・知人・近所の人」が24.8%となっています。



問36 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

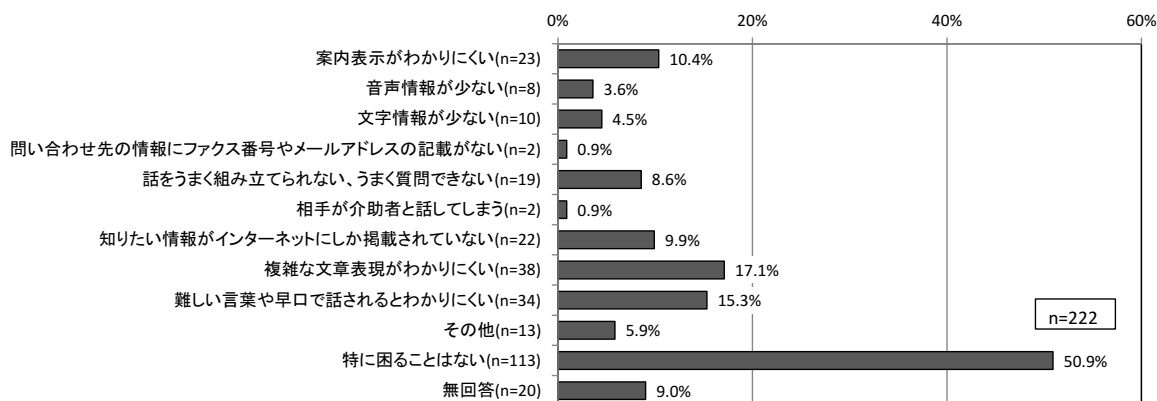
福祉サービス内容については、「市・県の広報」で知るが58.1%と最も高く、次いで「医療機関」が21.2%、「家族や仲間の話」が14.0%となっています。



問37 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。
(○はいくつでも)

情報の入手やコミュニケーションで困ることについては、「複雑な文章表現がわかりにくい」が17.1%と最も高く、次いで「難しい言葉や早口で話しされるとわかりにくい」が15.3%となっています。

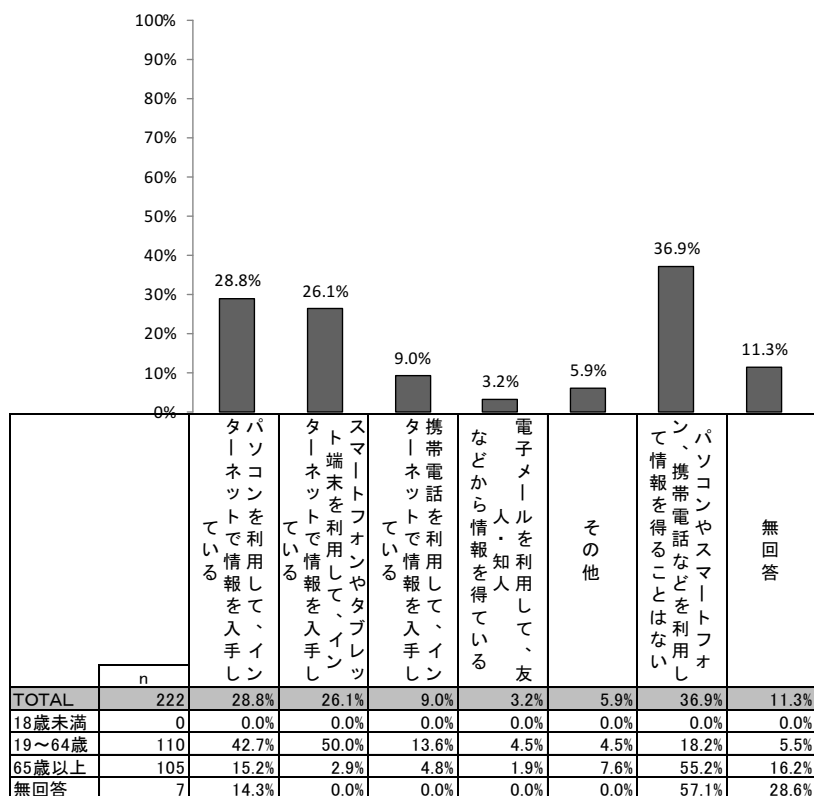
また、「特に困ることはない」は50.9%となっています。



問38 あなたは、情報を入手するために、パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用していますか。(○はいくつでも)

情報の入手については、「パソコンを利用して、インターネットで情報を入手している」が28.8%と最も高く、次いで、「スマートフォンやタブレット端末を利用して、インターネットで情報を入手している」が26.1%となっています。

また、「パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用して情報を得ることはない」は36.9%となっています。

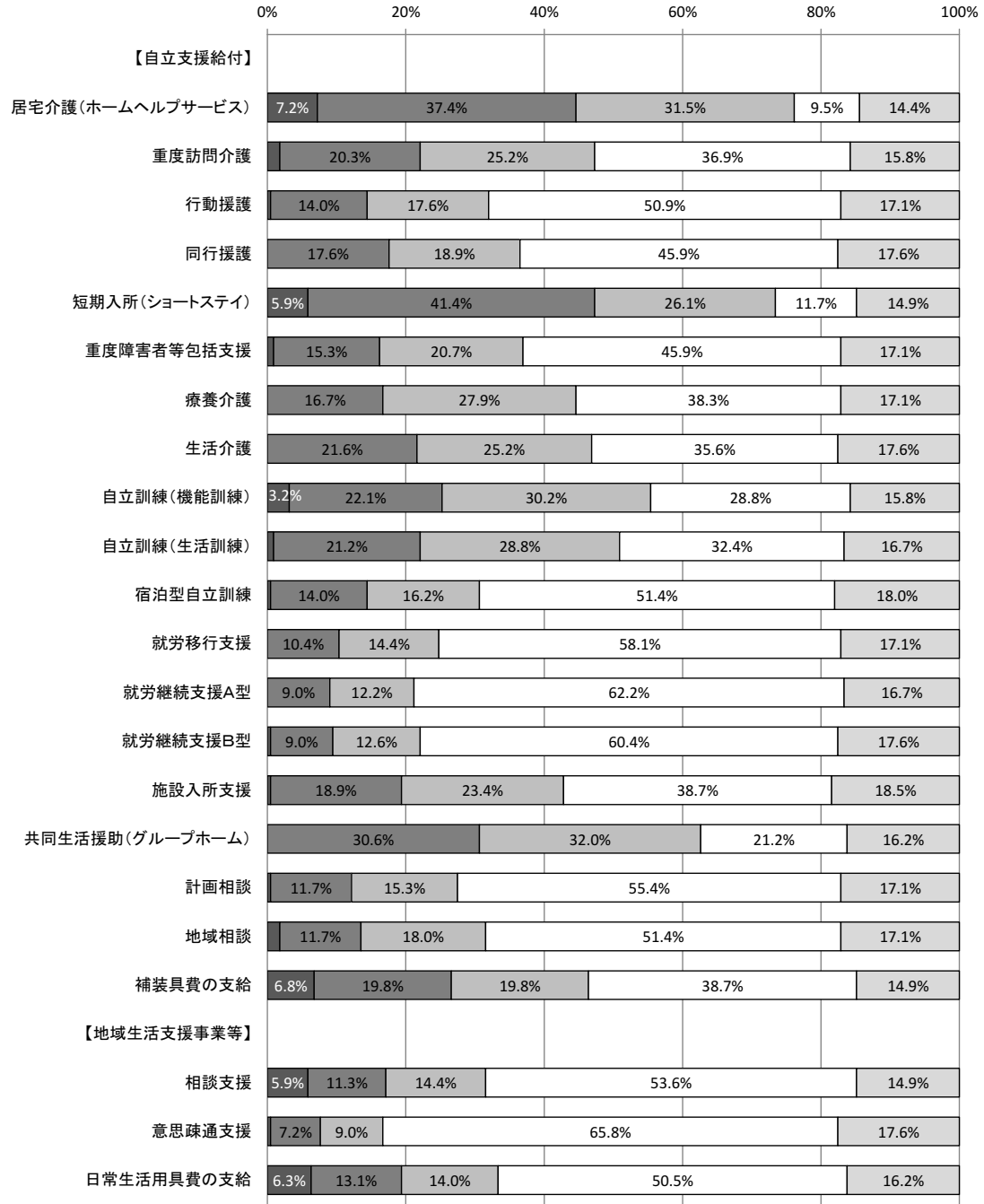


《 福 祉 サ ー ビ ス に つ い て 》

問39 あなたは、次のような福祉サービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。
(○はいくつでも)

内容をわかっている、利用したことがある(利用していたことがある)人の割合が高いサービスは、「居宅介護(ホームヘルプサービス)(7.2%)」、「補装具費の支給(6.8%)」、「日常生活用具の支給(6.3%)」となっています。

制度の名前を初めて聞いた人の割合が高いサービスは、「意思疎通支援(65.8%)」、「就労継続支援A型(62.2%)」、「就労継続支援B型(60.4%)」となっています。



■内容をわかっている、利用している(利用していたことがある) ■内容はわかっているが、利用したことはない
 □制度の名前は聞いたことはあるが、内容はわからない □制度の名前を初めて聞いた
 □無回答

※横積み上げグラフの各項目の%は3%以上のもののみ表記しており、3%未満の回答については、次の表を参照ください。

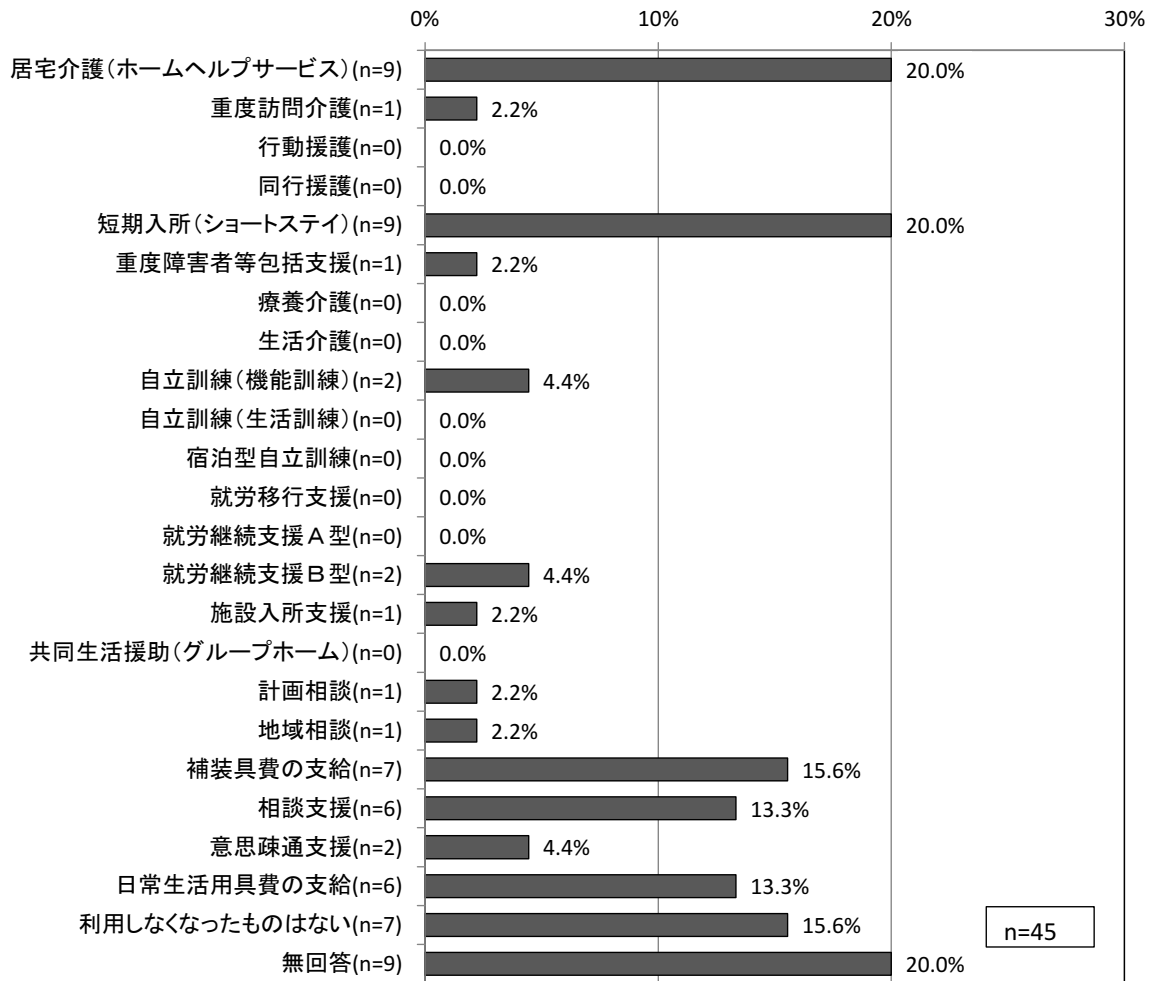
	n	内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)	内容はわかっているが、利用したことはない	制度の名前は聞いたことはあるが、内容はわからない	制度の名前を初めて聞いた	無回答	合計
【自立支援給付】							
居宅介護(ホームヘルプサービス)	222	7.2%	37.4%	31.5%	9.5%	14.4%	100.0%
重度訪問介護	222	1.8%	20.3%	25.2%	36.9%	15.8%	100.0%
行動援護	222	0.5%	14.0%	17.6%	50.9%	17.1%	100.0%
同行援護	222	0.0%	17.6%	18.9%	45.9%	17.6%	100.0%
短期入所(ショートステイ)	222	5.9%	41.4%	26.1%	11.7%	14.9%	100.0%
重度障害者等包括支援	222	0.9%	15.3%	20.7%	45.9%	17.1%	100.0%
療養介護	222	0.0%	16.7%	27.9%	38.3%	17.1%	100.0%
生活介護	222	0.0%	21.6%	25.2%	35.6%	17.6%	100.0%
自立訓練(機能訓練)	222	3.2%	22.1%	30.2%	28.8%	15.8%	100.0%
自立訓練(生活訓練)	222	0.9%	21.2%	28.8%	32.4%	16.7%	100.0%
宿泊型自立訓練	222	0.5%	14.0%	16.2%	51.4%	18.0%	100.0%
就労移行支援	222	0.0%	10.4%	14.4%	58.1%	17.1%	100.0%
就労継続支援A型	222	0.0%	9.0%	12.2%	62.2%	16.7%	100.0%
就労継続支援B型	222	0.5%	9.0%	12.6%	60.4%	17.6%	100.0%
施設入所支援	222	0.5%	18.9%	23.4%	38.7%	18.5%	100.0%
共同生活援助(グループホーム)	222	0.0%	30.6%	32.0%	21.2%	16.2%	100.0%
計画相談	222	0.5%	11.7%	15.3%	55.4%	17.1%	100.0%
地域相談	222	1.8%	11.7%	18.0%	51.4%	17.1%	100.0%
補装具費の支給	222	6.8%	19.8%	19.8%	38.7%	14.9%	100.0%
【地域生活支援事業等】							
相談支援	222	5.9%	11.3%	14.4%	53.6%	14.9%	100.0%
意思疎通支援	222	0.5%	7.2%	9.0%	65.8%	17.6%	100.0%
日常生活用具費の支給	222	6.3%	13.1%	14.0%	50.5%	16.2%	100.0%

[問39で「内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問40 次のサービスの中で、以前は利用していたが、今は利用していないサービスはありますか。
(○はいくつでも)

以前は利用していたが、今は利用していないサービスについては、「居宅介護（ホームヘルプサービス）」、「短期入所（ショートステイ）」がともに20.0%と最も高く、次いで「補装具費の支給」が15.6%となっています。

また、「利用しなくなったものはない」は15.6%となっています。

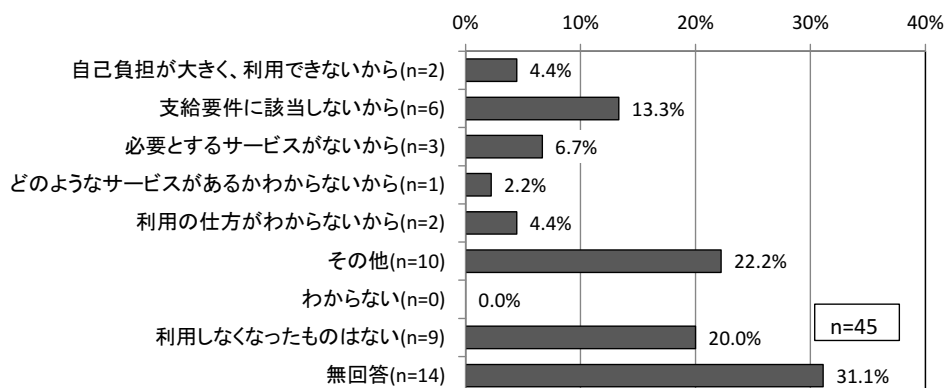


[問39で「内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問41 サービスを利用しなくなった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを利用しなくなった理由については、「支給要件に該当しないから」が13.3%と最も高くなっています。

また、「利用しなくなったものはない」は20.0%となっています。

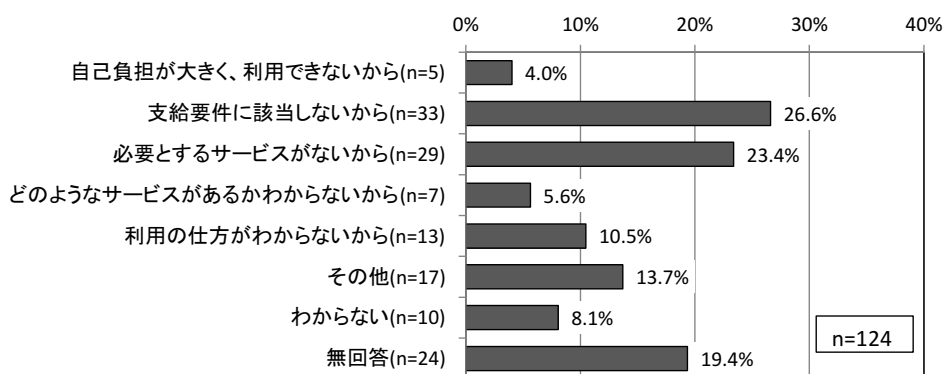


[問39で「内容はわかっているが、利用したことはない」を1つ以上回答した方におききます]

問42 サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを利用していない理由については、「支給要件に該当しないから」が26.6%と最も高く、次いで「必要とするサービスがないから」が23.4%となっています。

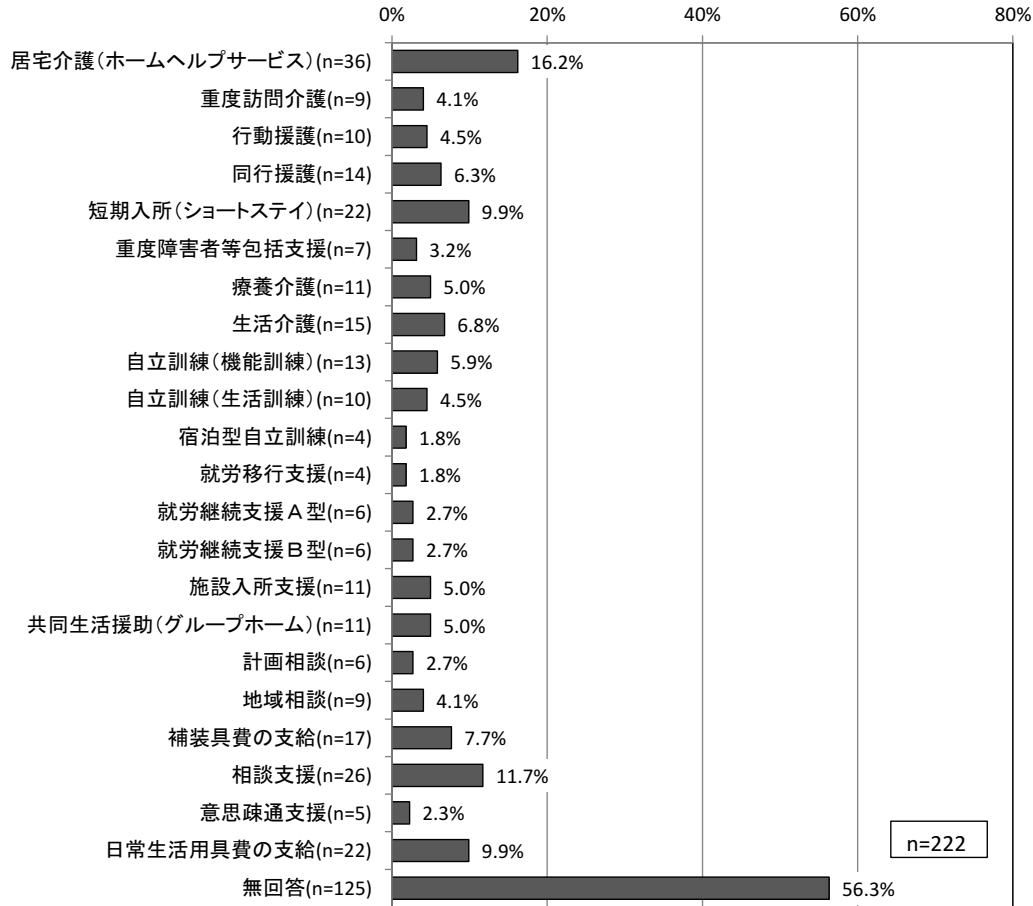
また、「利用の仕方がわからないから」が10.5%、「どのようなサービスがあるかわからないから」が5.6%と合わせて約16%の方がサービスについてわからないと回答しています。



[ここからは、全員におききします]

問43 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

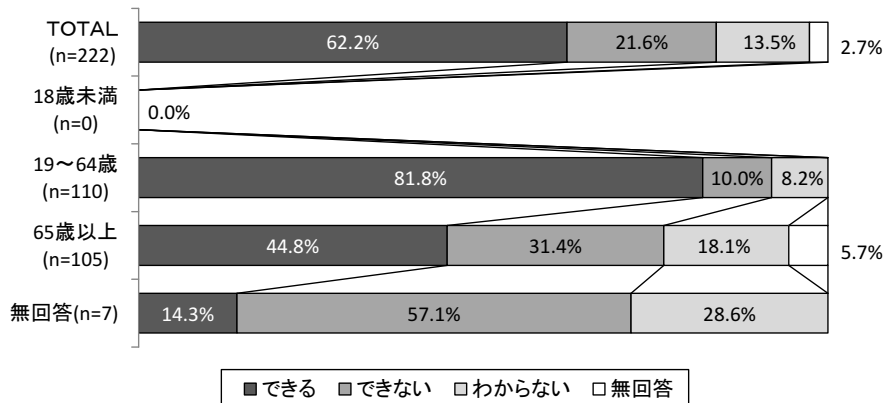
利用したいと考えている人の割合が最も高いサービスについては、「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が16.2%と最も高く、次いで「相談支援」が11.7%、「短期入所（ショートステイ）」、「日常生活用具費の支給」がともに9.9%となっています。



《 災 害 等 に つ い て 》

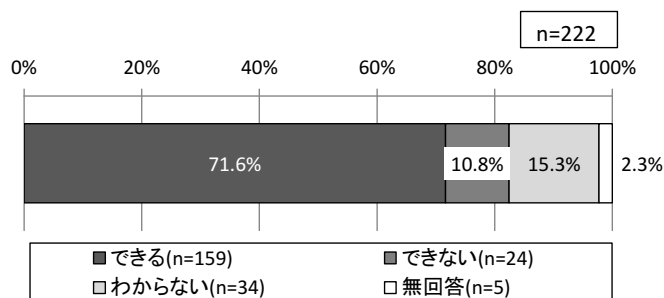
問44 火事や地震等の災害時に、あなたは一人で避難できますか。(○は1つ)

災害時の避難については、一人で避難が「できる」が62.2%、「できない」が21.6%となっています。



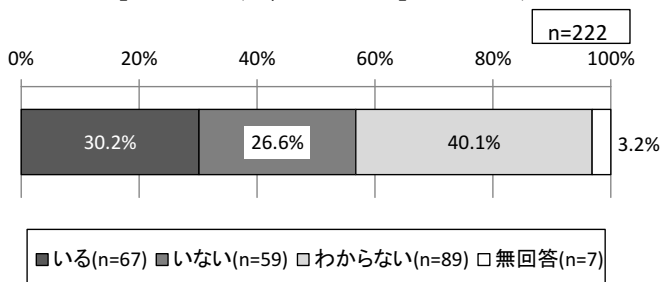
問45 火事等の非常時に、あなたは周囲の人に知らせることができますか。(○は1つ)

非常時に周囲に知らせることが「できる」が71.6%、「できない」が10.8%となっています。



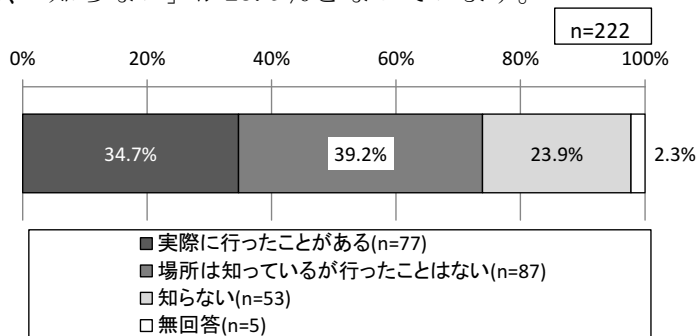
問46 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいますか。(○は1つ)

近所に助けてくれる人が「いる」が30.2%、「いない」が26.6%となっています。



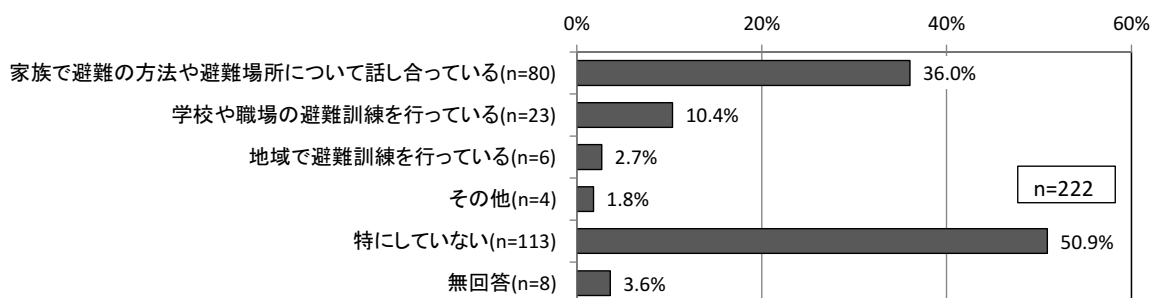
問47 お住まいの周辺の災害時の避難場所を知っていますか。(○は1つ)

災害時の避難場所については、「場所は知っているが行ったことはない」が39.2%、「実際に行ったことがある」が34.7%、「知らない」が23.9%となっています。



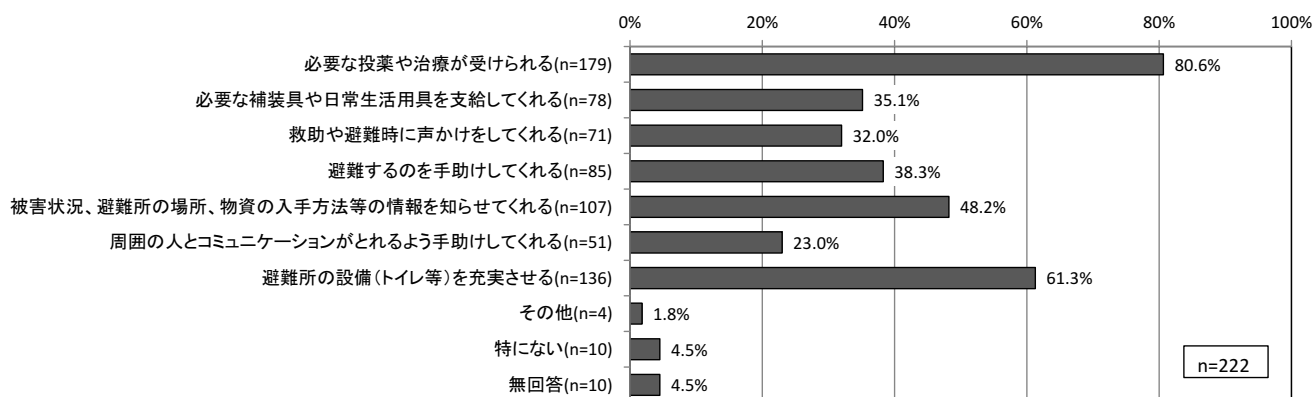
問48 災害時の避難について、以下のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

災害時の避難については、「家族で避難の方法や避難場所について話し合っている」が36.0%と最も高くなっています。また、「特に何もしていない」は50.9%となっています。



問49 災害時にどのような支援・援助があるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

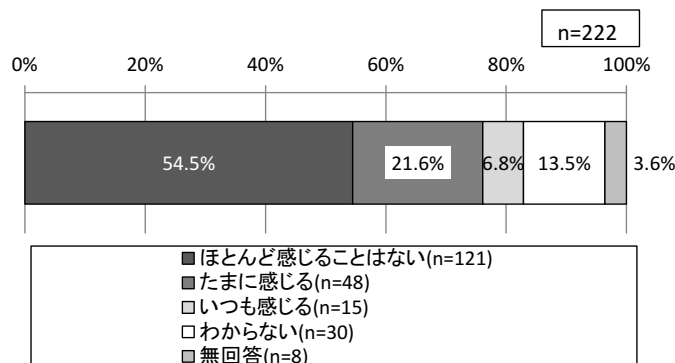
災害時にあるとよいと思う支援・援助については、「必要な投薬や治療が受けられる」が80.6%と最も高く、次いで「避難場所の設備(トイレ等)を充実させる」が61.3%、「被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる」が48.2%となっています。



《 差別 や 疎外 感 に つ い て 》

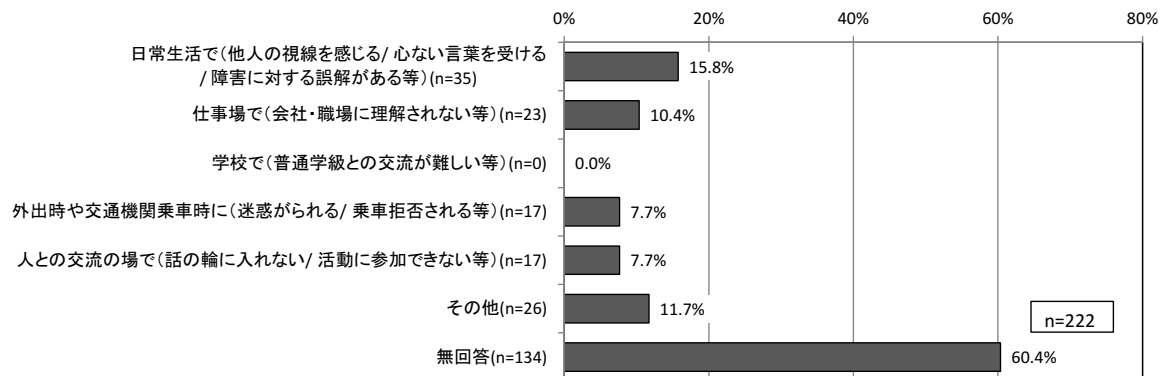
問50 障害があることで、差別や疎外感を感じることがありますか。(〇は1つ)

障害があることで、差別や疎外感については、「ほとんど感じることはない」が54.5%、「たまに感じる」が21.6%、「いつも感じる」が6.8%となっています。



問51 具体的には、どのようなときに、差別や疎外感を感じますか。(〇はいくつでも)

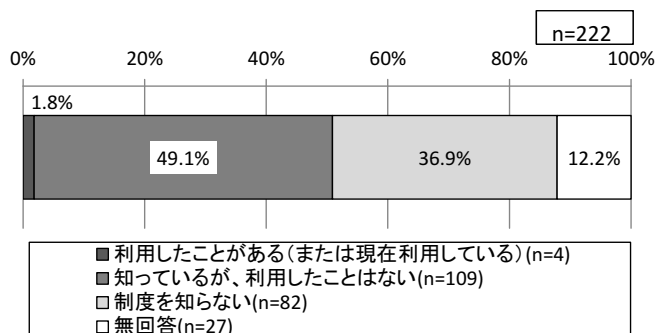
どのような時に差別や疎外感を感じるかについては、「日常生活で(他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解がある等)」が15.8%と最も高く、次いで「仕事場で(会社・職場に理解されない等)」が10.4%となっています。



《 成 年 後 見 制 度 に つ い て 》

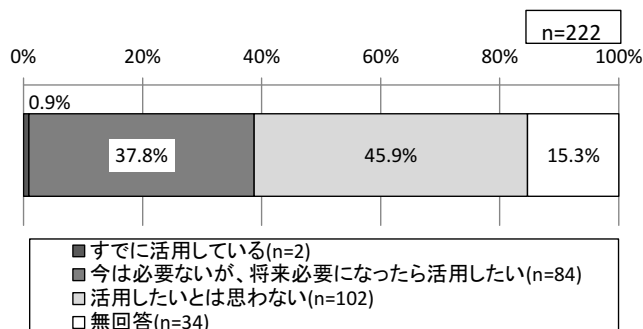
問52 「成年後見制度」とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。
(○は1つ)

成年後見制度については、「知っているが、利用したことはない」が49.1%と最も高くなっており、「制度を知らない」が36.9%、「利用したことがある(または現在利用している)」は1.8%となっています



問53 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(○は1つ)

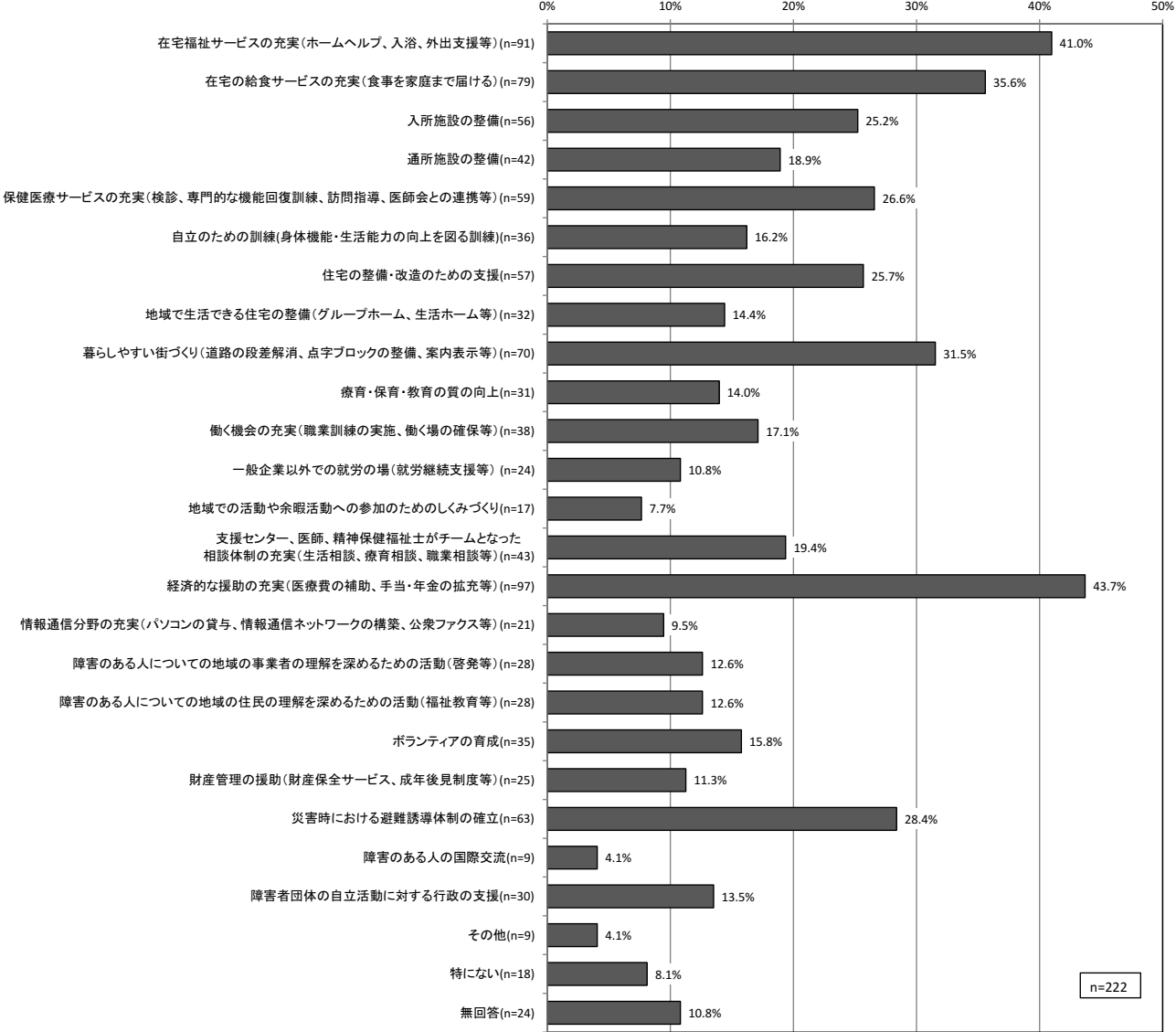
成年後見制度を活用したいかについては、「活用したいとは思わない」が45.9%、と最も高くなっており、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が37.8%、「すでに活用している」が0.9%となっています



《 市 の 取 り 組 み 等 に つ い て 》

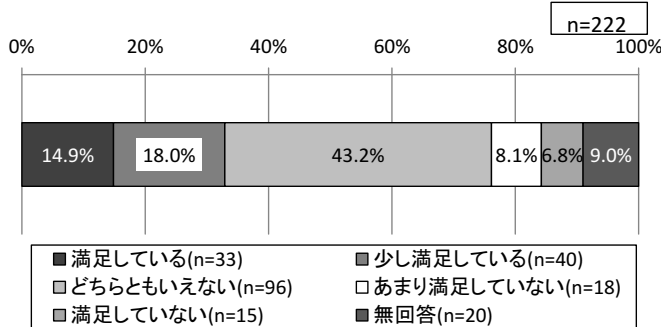
問54 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

市が充実させていくべきことについては、「経済的な支援の充実(医療費の補助、手当・年金の拡充等)」が43.7%と最も高く、次いで「在宅福祉サービスの充実(ホームヘルプ、入浴、外出支援等)」が41.0%、「在宅の給食サービスの充実(食事を家庭まで届ける)」が35.6%となっています。



問55 川越市の福祉サービス全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の福祉サービス全般については、「満足している(満足している+少し満足している)」が32.9%となっています。また、「満足していない(あまり満足していない+満足していない)」は14.9%となっています。



最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

【保健・医療サービスについて】

- 病院費が一回 7,000 円くらいかかる。歯科費等を加えると月 1 万～2 万くらいかかってしまう。プラス国民保険で働かないと病院にも行けない。体調が悪い時も無理をして働いている。(60 代)
- 治療費が高額すぎる。普通に払える金額にしてもらえれば、もっと短い間隔で通院して健常者と同等の生活が出来る。(30 代)
- 毎年 9 月に申請しますが昨年の収入で医療費の支払う額が変わります。今年から結婚してパートになり収入が少ない。夫の収入も安定しない職種です。そういうことを考えて支払う額を決めてほしい。(30 代)
- 特定疾病の医療費の補助を受けるのに毎年手続きするのが大変です。難病で 1 年では治る事はないのだからせめて 3 年くらいでの手続きにしてもらいたいです。そのうち補助がもらえなくなるのではないかと不安です。(40 代)
- 指定難病医療受給者証の認定が一度おりなかった時、病院にかかる医療費を心配しその為にうつ病が悪くなり困ってしまった時がありました。今でも月に一度通院しています。(70 代)
- 指定難病ですが改定後自己負担上限月額が 2 倍に上がってしまいました。平均化するのわかりますが、経済的負担がのしかかっています。(40 代)
- 今まで全額薬等の補助が受けられていた私にとっては自己上限の負担額が多く一生薬を飲む事によって保っていける身体にかかる医薬品やその難病指定を受けるにあたっての一年に一回の検査費用等負担が辛いです(50 代)
- 複数の持病を持っているので、施設に医療機関があり、外出(通院)せずに施設内で診療できる施設があるといいなと思います。収入も年金だけなので、利用料金が安くないと利用できません。(70 代)
- 役所へ申請などへ行くが、自宅から市役所も遠く、かといって出張所も近くないので、大変不便。役所の窓口業務のできる出張所を増やしてほしい。近隣市町村のように個別検診で行っているところもあり、受診希望者の利便性を考えていただきたい。(30 代)
- 医者でもこの病(重症筋無力症)を知らないようです。もっと広くこの病気を知ってもらいたい。(50 代)
- 在宅療養している病人がそして介護人が急を要する時に受け入れて医療、看護、介護がお世話になれる事をお願い致します。(60 代)

【雇用・就労について】

- 特定疾患、難病を持っている者に対しての税利の優遇(働けなくなった時等)があると良い。雇用の充実があると良い。(30 代)

【社会参加について】

- 音楽(ジャズ、ポピュラー)の演奏ができる人の紹介をしていただきたい。仲間とともにボランティアで施設等に訪問し、演奏出演を実現したい。(年代不明)

【住みよいまちづくりについて】

- ①福祉サービスを利用するにあたって案内指導書的なガイドラインでやさしく簡単な資料があれば配布していただきたい。②災害発生時あるいは予想される時の手順、各地域での集合場所、避難先の具体的な資料を手元に求めておきたい。(80 歳以上)
- リハビリ等で散歩する為には車が多いので歩道を整備してほしいと思います。(60 代)
- 駅のまわり蔵造りの所ばかり整備されきれいで、ちょっと入ると歩道すらない。川越市なんて大きな町なのだから町全体に歩道くらいしっかりと作ってほしい。(40 代)

【福祉サービスの充実について】

- 特定疾患受給者証の更新時に係る費用の一部負担をお願いしたい(医者の証明書の検査費用等)(60 代)

- 難病見舞金、医療費給付、障害年金等を受ける為には、その都度本人が検査を受けた病院に行かなくてはならないが、目が不自由なので、回数が多いとても大変です。(60代)
- オアシス等で障害者サークルやイベントを行ってくださっているのですが、視覚障害者が参加できるようなものがない。近隣の視覚障害者が気軽に集まって、おしゃべりやお茶等ができるような定期的な会があれば(送迎があれば助かります)(60代)
- 家族と一緒に外出したとしても、夫もトイレの中まで手助けできない。トイレの入り口等ボタンを押せば同性の係の人が来てトイレが終わるまで世話をしていただけたらとても助かります。(60代)
- 将来病状が悪化し、また一人で生活するようになった場合を考えるととても不安になります。制度の充実をお願いします。(60代)
- 現在、難病患者見舞金年額 36,000 円頂いておりますが、いくらかでも医療費の負担を軽減出来るので大変助かっています。(50代)
- 難病見舞金が少なすぎる！(医療費は毎月かかるのに対して、川越市からの見舞金だけでは足りない。)(30代)

【その他】

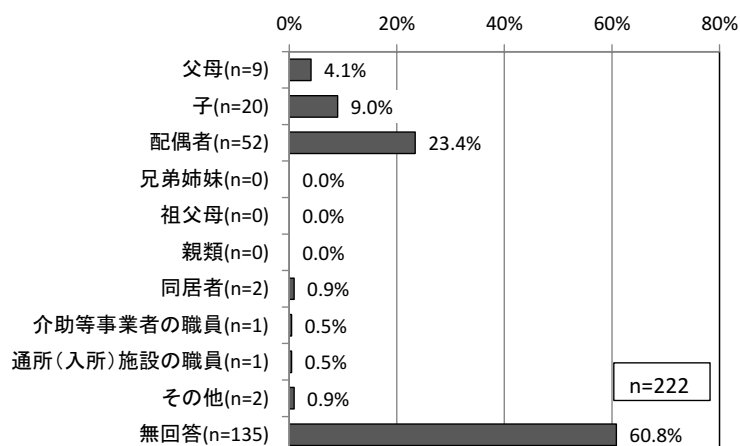
- 障害に合わせた支援、援助を行うこと。例えば今回のようなアンケートでも身体障害者手帳を持っていても人によって全く障害が異なるためひとくくりにはできない。(50代)
- 現時点ではほぼ普通に生活できているので実感のない回答が多く、○が付けにくい設問が多くて悩みます。(60代)
- サービスの対象となる人は社会的に弱い立場の人が多いため、分かり易い案内をして頂けると、今まで以上にいいのではないかと思います。(40代)
- このような調査をされ福祉行政に役立てていただけ弱者への関心を拡張される川越市の取り組み方に感謝します。ますます福祉の充実が必要となる世代が増加する見通しなのでよろしく願い致します。(60代)
- 東京都にくらべ福祉制度は川越市はまだまです。福祉の市の取り組み方とか、どこの都、市、町いい所をまねをしてほしいです。市役所の方で障害をもっている方の意見を聞き入れてほしいです。(40代)
- 病院や薬局で、自己負担上限月額管理票を出す際に黄色の表紙が目立つのでせめて白で大きさもコンパクトにして欲しい。(50代)
- 家族中が障害をもっており、ストレスはたまるばかり。身体、精神的にもゆとりが持てず悪化しているように思う。(50代)
- 障害者の1人として1言。敬老の日の事です。私たちの自治会は会館まで行けない人は祝って頂けません。体が悪い人はいつでも行けません。同じ町会費を出しています。(70代)
- 家族の協力もあって今のところ不便を感じる事はありません。以前のように旅行とか買い物とかに出かけることが極端に少なくなったのが残念です。(60代)
- 現在、父母の介護の手助けをしている。(配偶者の父母)少々つかれる。(50代)
- この病気からリウマチ、甲状腺の病気にもなりました。薬を飲んでいるから働いていけますが、飲まないと痛くて歩けないぐらいにもなります。(50代)
- 難病で病院で治療を受けているだけで福祉サービスの事は書けません。専業主婦の為、収入も書けません。(50代)
- 老後一人でいますので急に病気になったり倒れたりした時が不安です。身内が近い所にいないのでどの様にしたらいいか考え中です。(70代)
- 特定疾患のお見舞金毎年頂いており、大変ありがたいのですが、毎回市役所まで行かなくてはならず郵送で出来るのであれば助かります。(50代)
- どうしても良い、見放されているから。(60代)
- 私は指定難病を患い、現在も治療継続中ですが、病状は安定していて普通に仕事をする事ができています。ただ、こうした病気やそれに伴う制度については一般に認知度が低い為、時に説明に苦慮したりすることもあります。何につけてもそうですが、特にそうした制度を必要としない人たちに理解できる情報発信というのはとても大切なことだと思います。(50代)
- 地域の民生委員の決め方に問題があると思います。(40代)

- アンケートが長すぎて終わりに近づいてきたときにはかなり疲れました。現状を維持するのが私の大切な仕事です。字を書くことが出来なくなってきました。でもなんとか頑張っています。(70代)
- 難病で状態が非常に悪く立つだけでも大変で歩く事もままならず辛いです。(70代)
- 私は一年に一回更新します。難病なのに一年で治るなら難病とは言ってほしくないです。でもそれが決まりならせめてその時に障害者マークを市なり保健所から出してほしい。(60代)
- 契約社員として働いていますが将来がとても不安です。(50代)
- 私は障害者であります。今日迄福祉施設を利用した事が無い為、十分なアンケートになっていませんのでご理解下さい。(70代)
- 市が悪いわけではないが、数年前から特定疾患の受給者証の自己負担上限額が法律が変わって大変苦労している。(40代)
- パーキンソン病の他に緑内障もあります。耳も遠くなっていますので、心配しています。先生が働ける間は動いた方がいいとの事ですので、頑張って働いています。(70代)
- 特定疾患(難病)ではありますが生活には支障が今のところありません。(50代)
- アンケートのこと、自分にあったアンケートの解答が書けない。いいかげんなボランティアはつくるな。ボランティアは作るな。お話しボランティアは本人がさみしいから来るのではないか。(80歳以上)
- 私事特に有りません。何時もお世話になっております。ありがとうございます。(80歳以上)
- 医療費(特定疾患含む)の自己負担額は増えると思います。(30代)
- サラリーマンの働き方の変化(残業しない民間企業が増えている)によって給料は大してもらっていません。現状の私がそうであり、賃金に占める医療費支払いの割合が高くなり、苦しくなるのではないかと不安があります。(30代)
- 指定難病継続申請の提出書類が多く複雑です。申請時提出書類の不備、不足があった場合、再度発行する役所に行き、また提出する書類を届ける必要があります。(70代)
- もっと気楽なその人にあったものが一つの窓口でトータル的に組立てられる仕組みになっていれば良いと思います。何か還付される時の手続きも資料が難しく、老人向きの内容で書かれてありません。(60代)

ご家族や援助(介護や手助け)をされている方へ

あなたの立場(調査対象のご本人との関係)は次のうちどれですか。(○は1つ)

調査票対象者との関係については、「配偶者」が23.4%と最も高く、次いで「子」が9.0%、「父母」が4.1%となっています。



毎日の援助の中で気づいた問題点や、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 庭に出るの各種作業や近所を散歩するなどの行為をすることによってリハビリ効果等を高めていきたいが、近隣住民(かつての自分を含む)の障害者等への差別意識が強く外出しにくい。またそれら差別、偏見を煽る者は高齢者に多く、口を出すこともままならない…。(配偶者)

【保健・医療サービスについて】

- お袋は進行性核上性マヒなのですが、この病気によりよく転倒します。転倒をすることで、腕や頭に傷をつくるのですが、医者にかかって治療してもらおうと治療費がかかります。この病気による治療費なので補助してもらいたい。(子)

【雇用・就労について】

- 被介護者への支援の充実は当然のことですが、介護者への支援も必要だと思います。特に介護離職も増えてきているので在宅でもできる仕事などの斡旋なども必要だと思います。(子)

【社会参加について】

- 両親はなんとか二人で生活していますが、足が不自由なため病院に行く場合や銀行、公共機関の移動は必ずタクシーを利用しています。金銭的な負担が多くタクシー券など一部の補助でもしていただきたい。(子)
- 不安な時に相談できるような“ホットライン”を作っていただきたい。たぶんそのような取り組みもあるのかと思うのです。知らないために利用していないこともあると思います。(子)

【住みよいまちづくりについて】

- 今、夫(81歳)妻(74歳)共に車の運転ができますが、当笠幡はほとんど交通の便が悪く、特に月1～2回の医大などへの通院が一番将来危惧しているところです。いずれ免許証を手放さざるをえなくなりますし。現在でも不安をかかえています。(配偶者)
- 川越駅西口を利用しているが、あの駅の作りが本当に不便で〇〇につながる横断歩道が廃止されたので上に登るのに時間がかかる。(子)

【福祉サービスの充実について】

- 緊急時(葬式など)の入所できる場所があったらいいと思う時、たびたびある。(配偶者)
- 生活者個々に人格特性、人生観をよくつかんだ上での福祉サービスを実施するべく、より具体的な施策、および効果測定のための指標に基づく実施把握など事業の高度化に取り組んで頂きたい。(子)
- 今は何とか夫の介助が出来ているが段々それも困難になって来ると思う。(老々介護)そういう時、気軽に頼める人、施設の充実を希望します。(配偶者)
- 毎週月曜日から金曜日8時30分から15時30分までアルバイトをしているため、そのあいだ妻一人にするので市職員さんの巡回訪問が出来たら安心できます。(配偶者)

【その他】

- “妻の難病”について(脊髄小脳変性症)将来、IPS細胞から特効薬が出来るという報道が新聞に出ましたが、臨床実験等を重ね、特効薬が出るまで10年前後はかかると思います。(配偶者)
- 難病だけでしたが見放されている。家で倒れ、なかなかお風呂にも入る時が大変。(不明)
- 今現在は働いているが、今後障害により就労出来なくなった時に生活が難しくなる。親の援助がなくなったときに大変困る。(配偶者)
- この病気も同じ日の中で病状が変化の大きい病気です。(配偶者)
- 前略毎日大変思います。皆様に感謝申し上げます。宜しく願い申し上げます。ありがとうございます。(配偶者)
- 3カ月毎に移動の話があります。話があってもすぐに移動先を見つけることが出来ません。移動先の内容特に支払額などの件(通所(入所)施設の職員)

- 介護や手助けをするにあたって、介助のやり方等の無料の講習等があったらいい。(配偶者)
- 通院のための付き添い支援について相談したところ、様々な課や係へたらい回しをされた上、そのような支援制度があるわけないだろうと一喝されて追い帰されてしまいましたので、市の福祉対応は信頼していません。(配偶者)
- 精神内科医の患者に対する応対の改善をはかってほしい。(不明)
- 手続き、申請等、難しい事が多い。また平日にしかできないのは困る。(子)